

道路事業の再評価説明資料

〔国道４７０号 輪島道路・輪島道路(Ⅱ期)〕

平成２８年９月

北陸地方整備局

目 次

1. 事業概要	
(1) 事業の目的	P 1
(2) 計画の概要	P 2
2. 現在に至る経緯	P 3
3. 事業費の見直し	P 4
4. 事業の効果	
(1) 3 便益に係る整備効果	
① 走行時間の短縮	P 6
② 交通事故件数の減少	P 7
(2) その他の効果	
① 第1次緊急輸送道路の強化、迂回発生時の代替路線の形成	P 8
② 救命救急活動の支援及びバス交通の定時性確保	P 9
③ のと里山空港及び輪島港へのアクセス向上	P 10
④ 主要な観光地へのアクセス向上	P 11
⑤ 地域連携プロジェクト（石川県新長期構想）の支援	P 12
5. 費用対効果	P 14
6. 対応方針（原案）	P 16
7. 費用対効果分析実施判定票	P 17
参考資料	P 19

1. 事業概要

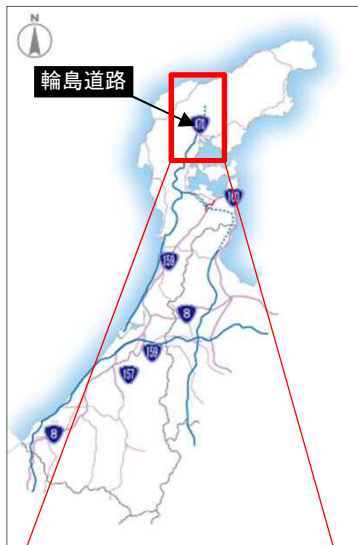
(1) 事業の目的

当事業は、

- 高規格幹線道路網の形成
- 災害に強いネットワークの形成
- 第三次医療施設へのアクセス向上
- 地域の発展・観光の活性化 など

を目的として、石川県輪島市から富山県砺波市に至る国道470号(能越自動車道)を構成する一部として、輪島市杉平町～輪島市三井町洲衛(延長11.5km)について、高規格幹線道路の整備を行うものである。

【広域図】



【国道470号(能越自動車道)の概要】



【位置図】

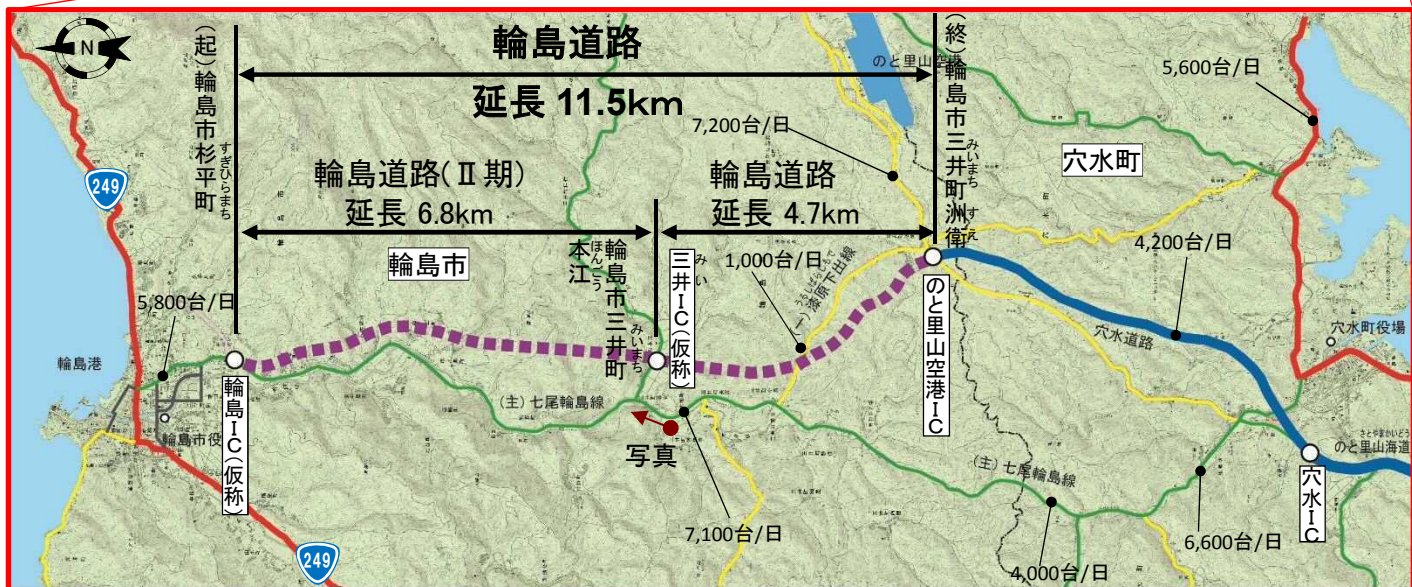


写真: 並行する主要地方道路(以後、(主)七尾輪島線の隘路区間を走行する大型車(輪島市三井町本江))

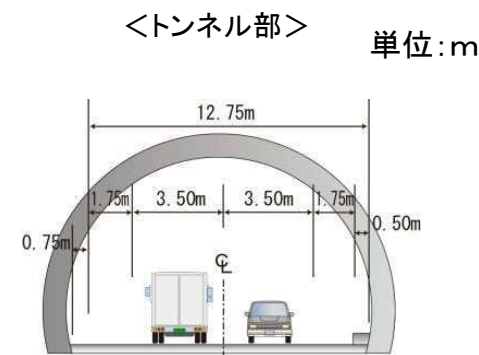
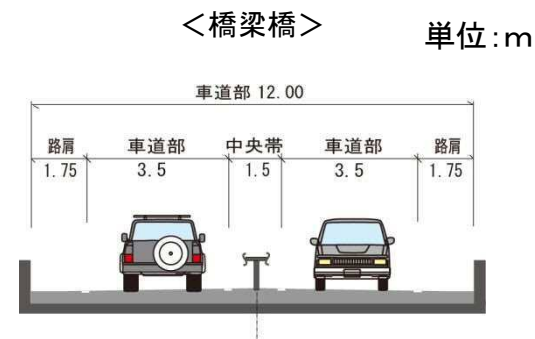
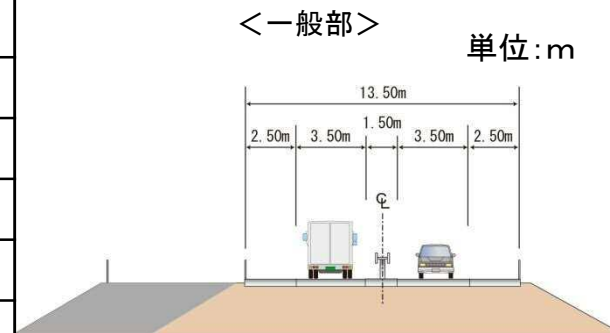
出典: H22道路交通センサス

1. 事業概要

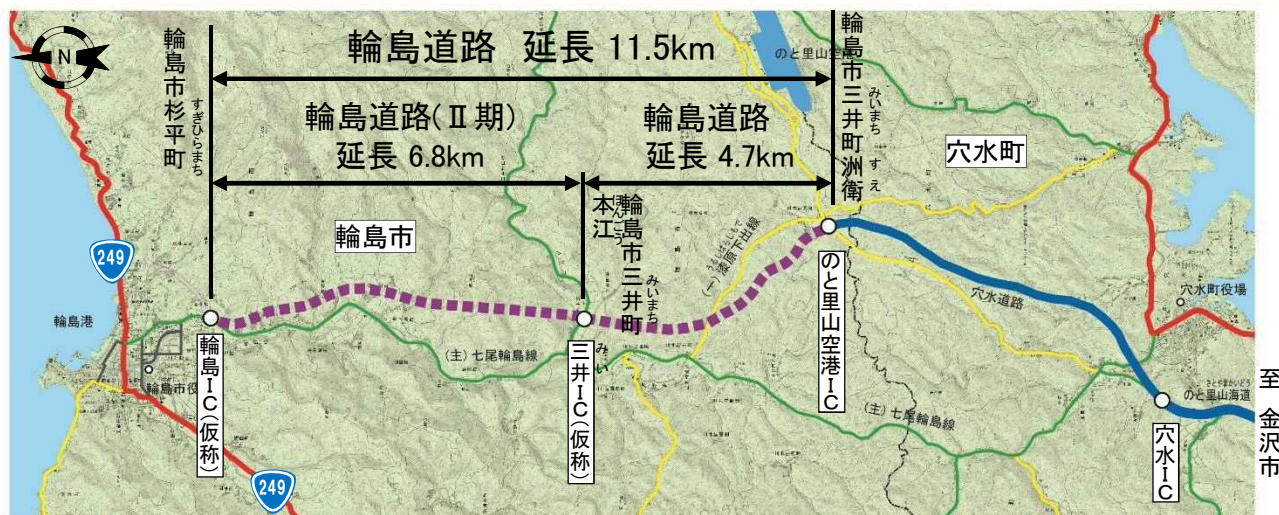
(2) 計画の概要

路線名	国道470号(能越自動車道)	
事業名	輪島道路(Ⅱ期)	輪島道路
延長	6.8km	4.7km
起終点	(起)石川県輪島市杉平町 (終)石川県輪島市三井町本江	(起)石川県輪島市三井町本江 (終)石川県輪島市三井町洲衛
都市計画決定	平成11年度	
事業化	平成24年度	平成18年度
全体事業費	約240億円(暫定2車線)	約150億円(暫定2車線)
平成28年度末までの投資額(予定)	約20億円(進捗率8%)	約90億円(進捗率60%)

【標準断面図】



【平面図】



2. 現在に至る経緯

事業の経緯

年度	主な経緯
平成11年度	都市計画決定
平成18年度	事業化(輪島道路)
平成22年度	用地着手(輪島道路)
平成23年度	事業再評価(輪島道路) (指摘事項なし 継続)
平成24年度	事業化(輪島道路(Ⅱ期))
平成25年度	工事着手(輪島道路)
平成26年度	事業再評価(輪島道路・輪島道路Ⅱ期) (指摘事項なし 継続)
平成27年度	用地着手(輪島道路(Ⅱ期))

今後の事業展開

○輪島IC(仮称)～三井IC(仮称)間は、来年度の工事着手を目指して設計及び用地買収等を進めるとともに、三井IC(仮称)～のと里山空港IC間については、早期暫定2車線開通を目指して工事等を推進する。

【平面図】



事業の進捗状況

平成28年度末(予定)、金額は税込み

		全体	執行済額	進捗率	残事業費
輪島道路	事業費	約150億円	約90億円	60%	約60億円
	うち用地費・補償費	約16億円	約15億円	94%	約1億円
輪島道路(Ⅱ期)	事業費	約240億円	約20億円	8%	約220億円
	うち用地費・補償費	約28億円	約5億円	18%	約23億円
合計	事業費	約390億円	約110億円	28%	約280億円
	うち用地費・補償費	約44億円	約20億円	45%	約24億円

○前回再評価(平成26年度)以降、輪島IC(仮称)～三井IC(仮称)については平成27年度より用地着手を、三井IC(仮称)～のと里山空港IC間については改良工、橋梁下部工等を推進している。

3. 事業費の見直し

[輪島道路:コスト増額内容:約40億円]

① 法面对策工の増加【約40億円】

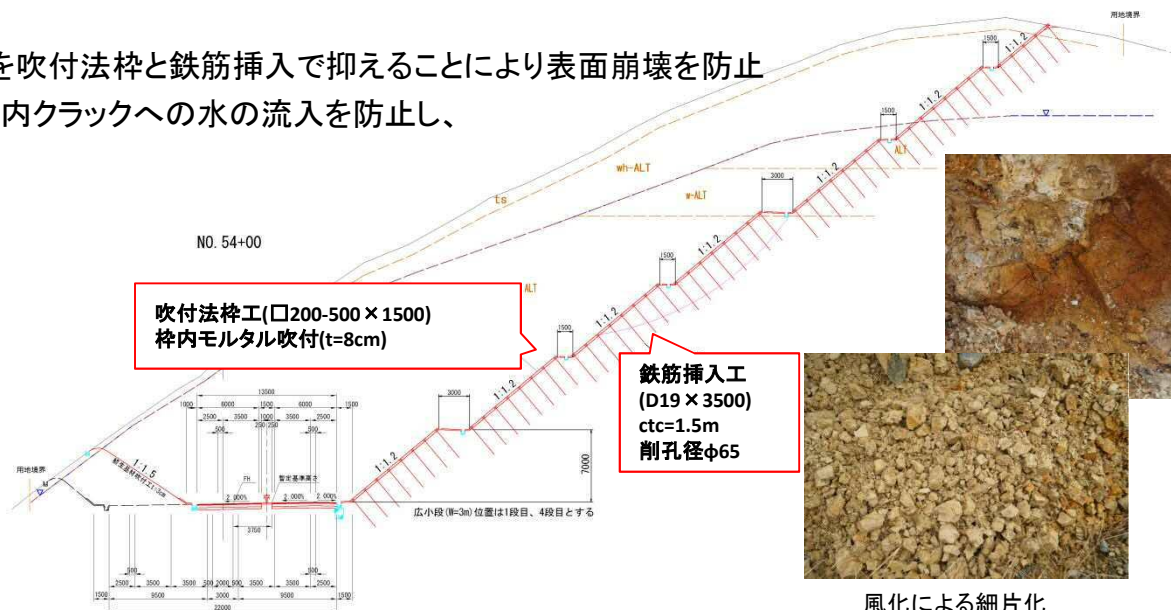
過年度の土質調査結果では、現況地山は安定した土質と判断し、切土計画をしていたが、平成27年度の工事において掘削完了後、風化に伴う岩の細片化に起因した法面崩落が確認されたことから、追加調査を実施した。

調査結果より、切土計画箇所において、風化による強度低下を起こしやすい地層であることが確認されたことから、表面崩落を防止するための対策が必要となった。

風化による強度低下に対しては、切土法面を吹付法枠と鉄筋挿入で抑えることにより表面崩壊を防止するとともに、枠内モルタル吹付等により地層内クラックへの水の流入を防止し、長期的な安全性を確保する。



風化による細片化と崩壊



風化による細片化

○見直し後の事業費【コスト増額:約40億円】

	全体	執行済額	進捗率	残事業費
事業費	約190億円	約90億円	47%	約100億円
うち用地費・補償費	約16億円	約15億円	94%	約1億円

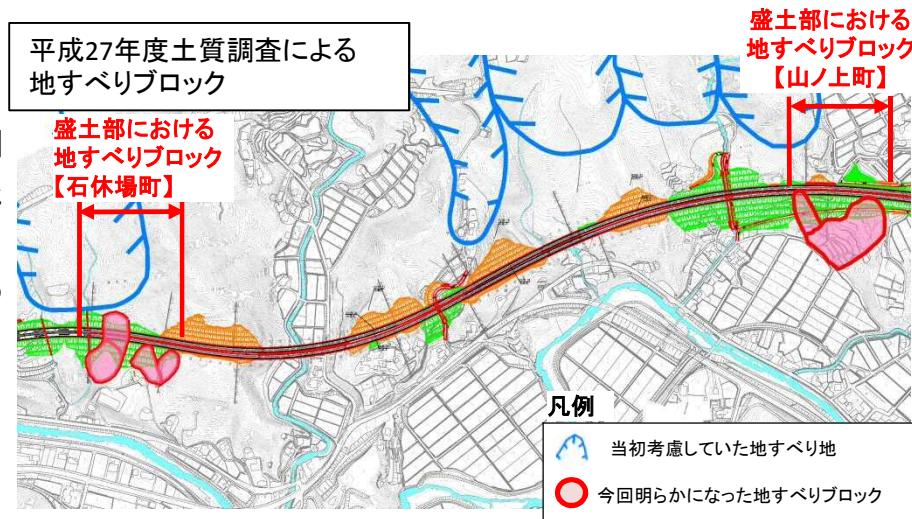
3. 事業費の見直し

[輪島道路(Ⅱ期):コスト増額内容:約60億円]

① 地すべり対策工の増加【約50億円】

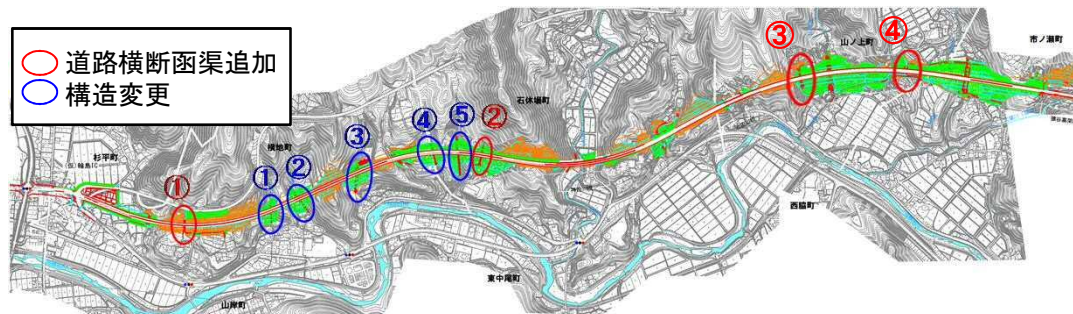
当初、地すべり地を避けた計画としていたが、平成27年度土質調査結果より、計画路線上に地すべりブロックの存在が明らかになったことから、盛土部の地すべり対策が必要となった。

盛土による荷重増加により、滑動力が増加し、安全率が低下するため、抑止杭を設置して必要抑止力を確保する。

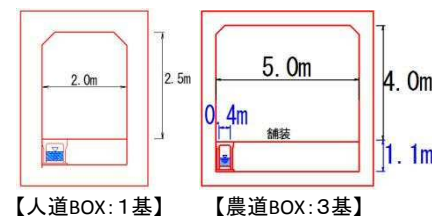


② 道路横断函渠の追加、構造変更【約10億円】

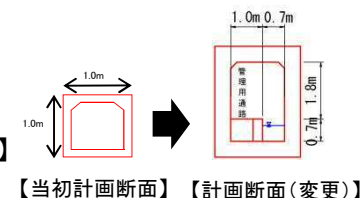
関係機関等との協議により、道路横断函渠の追加4基、管理用通路追加による道路横断函渠の構造変更5基とする計画に変更する必要が生じた。



【追加する道路横断函渠の標準断面図】



【管理用通路を考慮し構造変更した道路横断函渠の標準断面図】



○見直し後の事業費【コスト増額:約60億円】

	全体	執行済額	進捗率	残事業費
事業費	約300億円	約20億円	7%	約280億円
うち用地費・補償費	約28億円	約5億円	18%	約23億円

4. 事業の効果

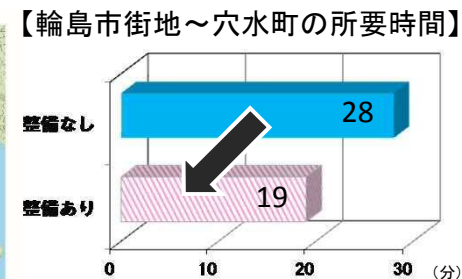
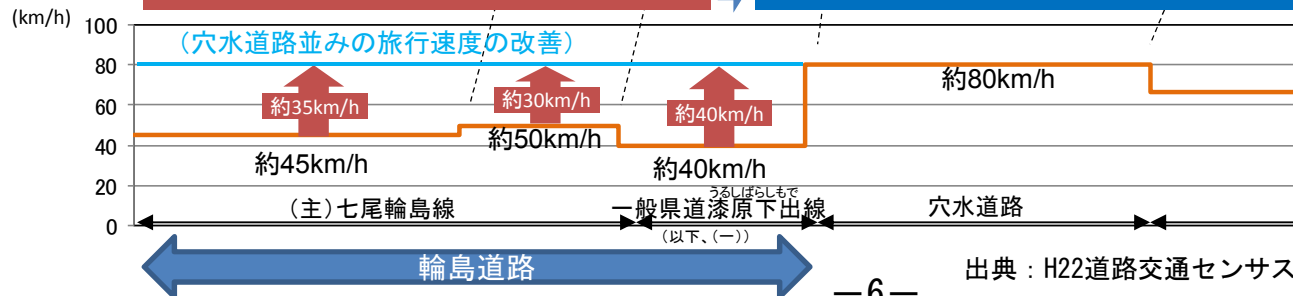
(1) 3便益に係る整備効果

① 走行時間の短縮

- 輪島市と穴水町を結ぶ（主）七尾輪島線は整備済みの穴水道路と比べて旅行速度が低い（最大約40km/h、50%低下）。
- 輪島道路の整備により、円滑な走行環境が確保され、輪島市街地と穴水町の走行時間が約9分短縮、渋滞損失時間が年間約78万人時間削減される。

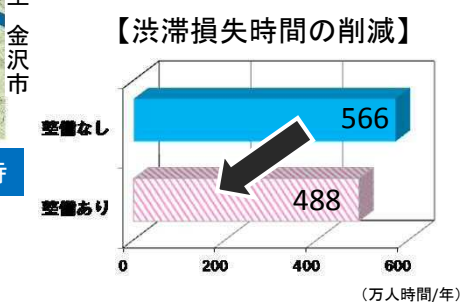


【旅行速度の状況】 未整備区間は穴水道路と比べ旅行速度が落ちる → 輪島道路の整備により大幅な旅行速度の改善が期待



輪島道路の整備により約9分(32%)短縮

出典: 整備なし(H22道路交通センサス) 整備あり(H42将来交通量推計値)



輪島道路の整備により約78万人時間(14%)削減

出典: H42将来交通量推計値 (費用便益対象エリア)

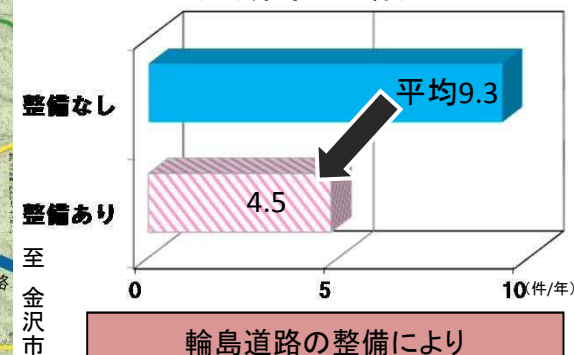
4. 事業の効果

② 交通事故件数の減少

- 輪島道路の並行区間では10年間で年平均9.3件の死傷事故が発生し、死亡事故も発生している。
- 輪島道路の整備により、並行する道路から安全性の高い輪島道路へ交通が転換することから、年間約5件の死傷事故件数の削減が期待できる。



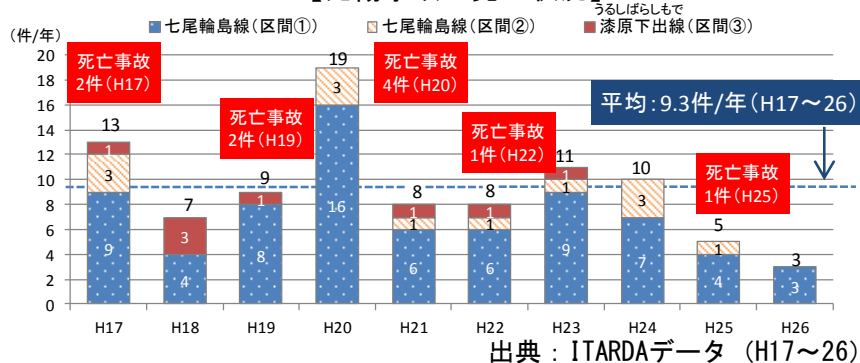
【死傷事故件数の削減】
(輪島道路および(主)七尾輪島線・
(一)漆原下出線)



輪島道路の整備により
9.3件→4.5件(4.8件、52%減少)

出典: 整備なし(ITARDA(H17~26平均))
整備あり(H42将来交通量推計値)

【死傷事故の発生状況】



写真①: 事故の発生状況



写真②: 並行する(主)七尾輪島線の状況
(輪島市三井町本江)

4. 事業の効果

(2) その他の効果

① 第1次緊急輸送道路の強化、迂回発生時の代替路線の形成

- 並行する(主)七尾輪島線は輪島市と穴水町を結ぶ第1次緊急輸送道路であるが、法面崩落等の危険性がある特殊通行規制区間*が存在し、過去の豪雨により冠水するなど災害時には大幅な迂回が強いられる。
- 輪島道路の整備により特殊通行規制区間を回避するとともに、災害に強い代替路線が形成されることでリダンダンシーが確保され、緊急輸送道路ネットワーク機能が強化される。

【輪島市～穴水町間の距離および所要時間】

(主)七尾輪島線が寸断し、想定する迂回路(国道249号へ迂回): 31km、37分



輪島道路整備時(輪島道路経由): 21km、19分

現道が寸断しても、大幅な迂回を回避できる。
37分→19分(49%短縮)

出典: H22道路交通センサス



写真①: 特殊通行規制区間
(輪島市三井町本江)



写真②: 台風豪雨時の越水で(主)七尾輪島線が冠水(輪島市市ノ瀬町)

※特殊通行規制区間

危険箇所の事故発生と異常気象との間に相関関係が見られない場合で、パトロール等により、気象、現地の状況等から判断して危険が予想される場合に事前規制を実施する区間。

【輪島道路周辺の通行止め発生状況】



- : 第1次緊急輸送道路
- : 特殊通行規制区間*
- : (主)七尾輪島線における通行止
- 【その他の路線における通行止】
- ✕: H23.9 台風15号による通行止
- ✕: H17.6 梅雨前線豪雨による通行止

【(主)七尾輪島線の通行止め状況】

NO	年度	原因
①	H2	倒木
②	H3	倒木
③	H10	冠水
④	H17	除雪・排雪
⑤	H20	事故
⑥	H24	支障物除去
⑦	H26	倒木

出典: 石川県提供データ

整備なし(国道249号へ迂回): 37分

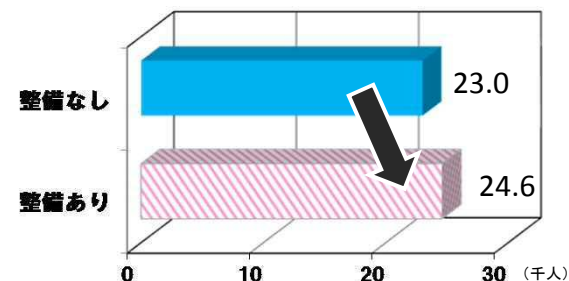
4. 事業の効果

②救命救急活動の支援及びバス交通の定時性確保

- 能登地域に存在する第三次医療施設は七尾市の能登総合病院のみであり、輪島市からの最短搬送ルートは、輪島道路に並行する(主)七尾輪島線となっている。
- 平成13年度にのと鉄道が廃線となり交通手段は自動車のみ。現在、金沢・穴水等へ1日53便の高速バスが運行している。
- 輪島道路の整備により、能登総合病院の60分圏域カバー人口が約1.6千人増加するとともに、バスの定時性確保・快適性の向上が期待できる。



【輪島市における能登総合病院の60分圏域カバー人口】



出典: 整備なし(H22道路交通センサス)
整備あり(H42将来交通量推計値)
人口(H22国勢調査)

【輪島道路並行区間の高速バス運行本数】

区間	便数
輪島⇔穴水	27便/日
輪島⇔金沢	22便/日
輪島⇔和倉	4便/日
合計	53便/日

出典: 輪島市へのヒアリング結果
(輪島～和倉間は10月～3月休日のみ)



写真: 観光バスも多数運行
(主)七尾輪島線

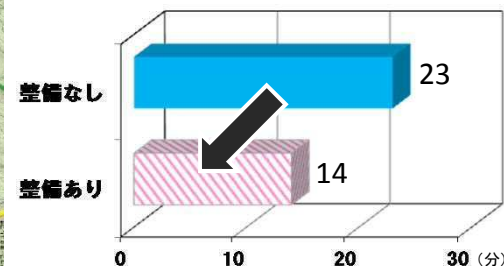
4. 事業の効果

③のと里山空港及び輪島港へのアクセス向上

- のと里山空港は平成15年7月の開港以来、地域に根付いた空港として年間約15万人の利用が定着している。
- 輪島港は石川県と輪島市の「マリンタウンプロジェクト」に基づき平成7年度から整備が進められ、防波堤や岸壁整備により大型クルーズ船が平成22年から年間4~5隻が寄港しており、入港数は近年増加傾向にある。
- 輪島道路の整備により、輪島市街地(輪島港)からののと里山空港へのアクセス性が向上するほか、のと里山空港と輪島港を活用した観光ルートの広域化にも貢献することが期待される。



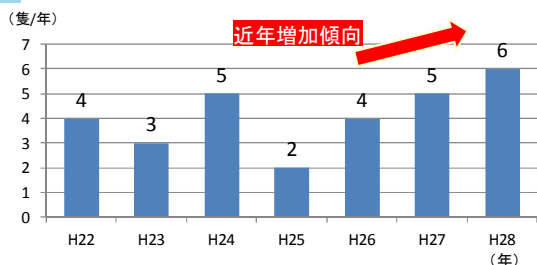
【輪島市街地(輪島港) ~のと里山空港の所要時間】



輪島道路の整備により
23分→14分(9分、39%短縮)

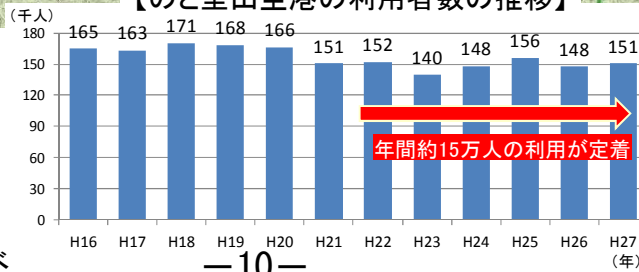
出典: 整備なし(H22道路交通センサス)
整備あり(H42将来交通量推計値)

【輪島港への大型クルーズ船入港数の推移】



出典: 輪島市調べ

【のと里山空港の利用者数の推移】



出典: 統計からみた石川の観光 (H16~27)
(H27は輪島市提供データ)

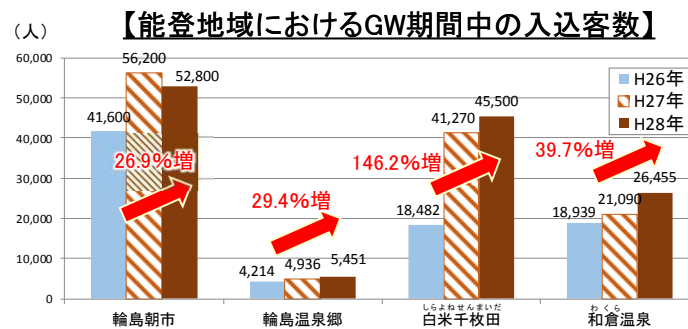


輪島港へ入港する大型クルーズ船

4. 事業の効果

④主要な観光地へのアクセス向上

- 輪島市は、輪島朝市や輪島温泉郷など全国的にも有名で特色のある観光資源が豊富に恵まれている。
- 平成27年以降は、北陸新幹線の開業や朝の連続ドラマ効果などもあり観光客の大幅な増加がみられている。
- 輪島道路の整備により、観光地の周遊性向上や輪島市への入込み客数の増加が期待される。



北陸新幹線開業後は増加傾向にある
出典: 石川県観光戦略推進部

【観光客で賑わう輪島朝市】



- ・観光客の多くが、輪島市から珠洲市内を回って能登半島を南下しているようである。
- ・多くの観光客が自動車を利用しており、金沢や富山ナンバーのレンタカーも多く見られている。

輪島市職員より (H27.5.18ヒア)



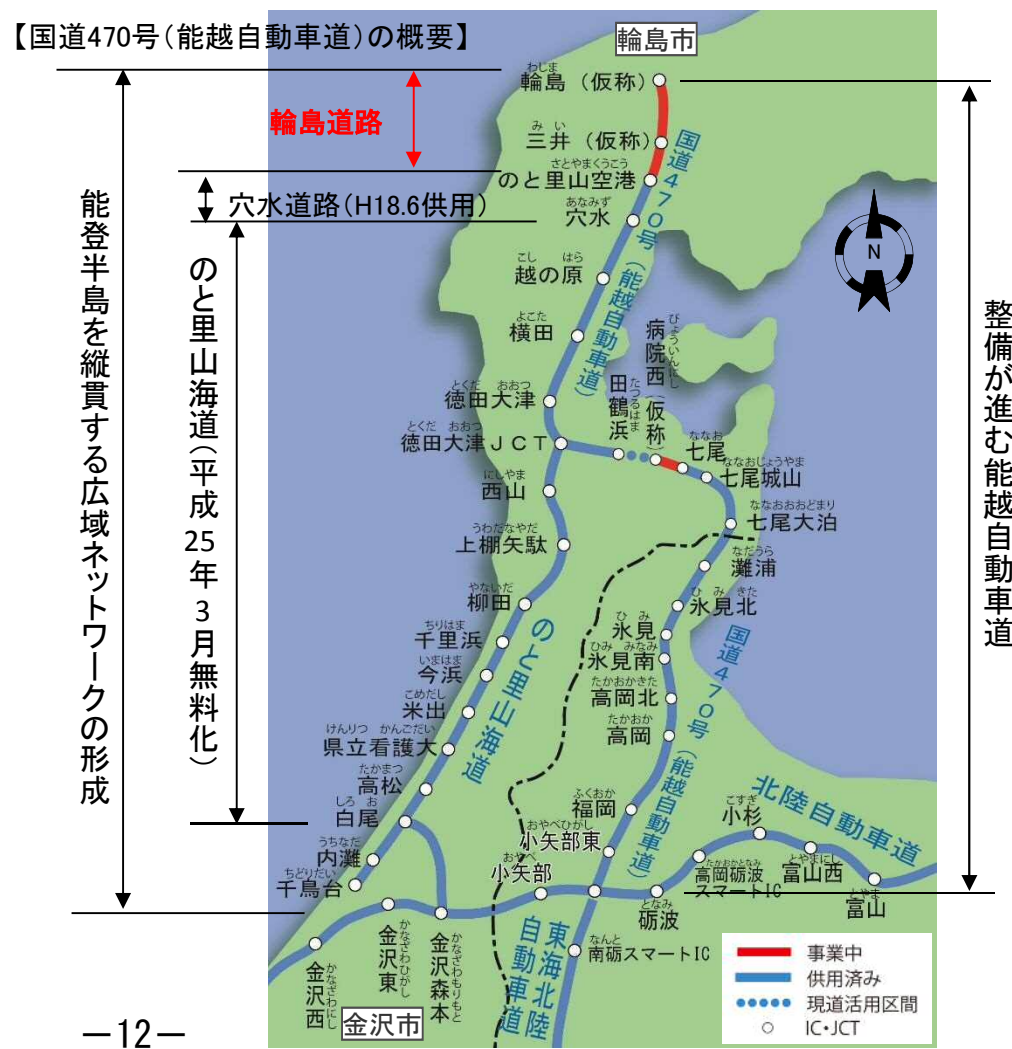
出典: 統計からみた石川県の観光(H27)

金沢方面からの来訪

4. 事業の効果

⑤地域連携プロジェクト(石川県新長期構想)の支援

- 石川県が取り組んでいる「ダブルラダー輝きの美知(平成28年3月)」構想において、輪島道路は南北幹線に位置づけられている。
- 輪島道路の整備は、南北に長い県土の交通ネットワークの多重化を図るとともに、北陸新幹線開業効果を県内全域へ波及させる等、当該構想の実現に大きく貢献する。



4. 事業の効果

事業の効果等

- ①第1次緊急輸送道路の強化、迂回発生時の代替路線を形成（P. 8参照）
 - ・並行する(主)七尾輪島線は輪島市と穴水町を結ぶ第1次緊急輸送道路であるが、法面崩落等の危険性がある特殊通行規制区間が存在し、過去の豪雨により冠水するなど災害時には大幅な迂回が強いられる。
 - ・輪島道路の整備により特殊通行規制区間を回避するとともに、災害に強い代替路線が形成されることでリダンダンシーが確保され、緊急輸送道路ネットワーク機能が強化される。
- ②救命救急活動の支援及びバス交通の定時性確保（P. 9参照）
 - ・能登地域に存在する第三次医療施設は七尾市の能登総合病院のみであり、輪島市からの最短搬送ルートは、輪島道路に並行する(主)七尾輪島線となっている。
 - ・平成13年度にのと鉄道が廃線となり交通手段は自動車のみ。現在、金沢・穴水等へ1日53便の高速バスが運行している。
 - ・輪島道路の整備により、能登総合病院の60分圏域カバー人口が約1.6千人増加するとともに、バスの定時性確保・快適性の向上が期待できる。
- ③のと里山空港及び輪島港へのアクセス向上（P. 10参照）
 - ・のと里山空港は平成15年7月の開港以来、地域に根付いた空港として年間約15万人の利用が定着している。
 - ・輪島港は石川県と輪島市の「マリンタウンプロジェクト」に基づき平成7年度から整備が進められ、防波堤や岸壁整備により大型クルーズ船が平成22年から年間4～5隻が寄港しており、入港数は近年増加傾向にある。
 - ・輪島道路の整備により、輪島市街地(輪島港)からののと里山空港へのアクセス性が向上するほか、のと里山空港と輪島港を活用した観光ルートの広域化にも貢献することが期待される。
- ④主要な観光地へのアクセス向上（P. 11参照）
 - ・輪島市は、輪島朝市や輪島温泉郷など全国的にも有名で特色のある観光資源が豊富に恵まれている。
 - ・平成27年以降は、北陸新幹線の開業や朝の連続ドラマ効果などもあり観光客の大幅な増加がみられている。
 - ・輪島道路の整備により、観光地の周遊性向上や輪島市への入込み客数の増加が期待される。
- ⑤地域連携プロジェクト（石川県新長期構想）の支援（P. 12参照）
 - ・石川県が取り組んでいる「ダブルラダー輝きの美知(平成28年3月)」構想において、輪島道路は南北幹線に位置づけられている。
 - ・輪島道路の整備は、南北に長い県土の交通ネットワークの多重化を図るとともに、北陸新幹線開業効果を県内全域へ波及させる等、当該構想の実現に大きく貢献する。

5. 費用対効果

事業名	国道470号 輪島道路						
起終点	起：石川県輪島市三井町本江 至：石川県輪島市三井町洲衛				延長	4.7km	
事業概要	国道470号輪島道路は、「高規格幹線道路網の形成」「災害に強いネットワークの形成」「第三次医療施設へのアクセス向上」「地域の発展・観光の活性化」などを目的とした延長11.5kmの高規格幹線道路事業のうち、延長4.7kmを構成する事業である。						
平成11年度都市計画決定	平成18年度事業化			平成22年度用地着手		平成25年度工事着手	
全体事業費	約190億円	事業進捗率 (平成28年度末予定)	47%	供用済延長	—		
計画交通量	9,000台/日						
費用対効果 分析結果	B/C		総費用	(残事業)/(全体事業)	総便益	(残事業)/(全体事業)	基準年度
	(事業全体)	2.0	105/194億円		388/388億円		平成28年度
	(残事業)	3.7	事業費:	84/173億円	走行時間短縮便益:	325/ 325億円	
			維持管理費:	21/ 21億円	走行経費減少便益:	44/ 44億円	
					交通事故減少便益:	20/ 20億円	
感度分析の結果							
(事業全体)	交通量:	(-10%~+10%) B/C=1.8~2.2	(残事業)	交通量:	(-10%~+10%) B/C=3.4~4.0		
	事業費:	(+10%~-10%) B/C=1.8~2.1		事業費:	(+10%~-10%) B/C=3.2~4.0		
	事業期間:	(+20%~-20%) B/C=1.9~2.1		事業期間:	(+20%~-20%) B/C=3.6~3.8		

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内容と一致しないことがある。

※費用及び便益額は整数止めとする。

※便益の算定については、「将来交通需要推計手法の改善について【中間とりまとめ】」に示された第二段階の改善を反映している。

5. 費用対効果

事業名	国道470号 輪島道路（Ⅱ期）						
起終点	起：石川県輪島市杉平町 ^{すぎひらまち}			延長	6.8km		
	至：石川県輪島市三井町本江 ^{みいまち ほんごう}						
事業概要	国道470号輪島道路（Ⅱ期）は、「高規格幹線道路網の形成」「災害に強いネットワークの形成」「第三次医療施設へのアクセス向上」「地域の発展・観光の活性化」などを目的とした延長11.5kmの高規格幹線道路事業のうち、延長6.8kmを構成する事業である。						
平成11年度都市計画決定	平成24年度事業化			平成27年度用地着手		工事未着手	
全体事業費	約300億円	事業進捗率 (平成28年度末予定)	7%	供用済延長	—		
計画交通量	9,000台/日						
費用対効果 分析結果	B/C		総費用	(残事業)/(全体事業)	総便益	(残事業)/(全体事業)	基準年度
	(事業全体)	1.3	217/237億円		311/311億円		平成28年度
	(残事業)	1.4	事業費： 維持管理費：	202/222億円 15/15億円	走行時間短縮便益： 走行経費減少便益： 交通事故減少便益：	259/259億円 33/33億円 19/19億円	
感度分析の結果							
(事業全体)	交通量：	(-10%~+10%) B/C=1.2~1.4	(残事業)	交通量：	(-10%~+10%) B/C=1.3~1.6		
	事業費：	(+10%~-10%) B/C=1.2~1.4		事業費：	(+10%~-10%) B/C=1.3~1.6		
	事業期間：	(+20%~-20%) B/C=1.2~1.4		事業期間：	(+20%~-20%) B/C=1.4~1.5		

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内容と一致しないことがある。

※費用及び便益額は整数止めとする。

※便益の算定については、「将来交通需要推計手法の改善について【中間とりまとめ】」に示された第二段階の改善を反映している。

6. 対応方針（原案）

事業の必要性等に関する視点

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
○平成25年3月 能登有料道路（現のと里山海道） ^{さとやまかいどう} の無料化	○平成27年3月 北陸新幹線の開業
○平成27年2月 七尾氷見道路全線暫定2車線開通	○平成28年4月 田鶴浜七尾道路 ^{たつるほま} 新規事業化
事業の進捗状況、残事業の内容等	
○事業の進捗状況：用地進捗率45%、事業進捗率22%（平成28年度末予定）	
○残事業の内容：設計及び用地買収等を進めるとともに、工事推進を図る。	

事業の進捗の見込みの視点

○輪島IC(仮称)～三井IC(仮称)間は、来年度の工事着手を目指して設計及び用地買収等を進めるとともに、三井IC(仮称)～のと里山空港IC間については、早期暫定2車線開通を目指して工事等を推進する。

コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

○建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。

関係する地方公共団体等の意見

○地域から頂いた主な意見：輪島市から、早期開通に向けた道路予算の確保並びに整備促進の要望を頂いている。
○知事の意見：引き続き事業を継続し、コスト縮減に努めつつ、着実に整備を進めていただきたい。

対応方針（原案）：事業継続

○国道470号輪島道路は、高規格幹線道路「能越自動車道」のうち、輪島市杉平町 ^{すぎひらまち} ～輪島市三井町洲衛間 ^{みいまちすえ} の延長約11.5kmを結ぶ道路であり、国道470号（能越自動車道）の一部を構成するなど重要な役割を担っている。
○輪島道路の整備により、高規格幹線道路網の形成、災害に強いネットワークの形成、第三次医療施設へのアクセス向上、地域の発展・観光の活性化など、多様な効果が見込まれるため事業を継続する。

7. 費用対効果分析実施判定票

費用対効果分析実施判定票

別添様式

年度：平成28年度

事業名：国道470号 輪島道路

担当課：道路計画課

担当課長名：東 佑亮

※各事業において全ての項目に該当する場合には、費用対効果分析を実施しないことができる。

項目	判定	
	判断根拠	チェック欄
(ア) 前回評価時において実施した費用対効果分析の要因に変化が見られない場合		
事業目的		
・事業目的に変更がない	事業目的に変更がない。	<input checked="" type="checkbox"/>
外的要因		
・事業を巡る社会経済情勢の変化がない 判断根拠例[地元情勢等の変化がない]	地元情勢等の変化がない。	<input checked="" type="checkbox"/>
内的要因<費用便益分析関係>		
※ただし、有識者等の意見に基づいて、感度分析の変動幅が別に設定されている場合には、その値を使用することができる。 注)なお、下記2～4.について、各項目が目安の範囲内であっても、複数の要因の変化によって、基準値を下回ることが想定される場合には、費用対効果分析を実施する。		
1. 費用便益分析マニュアルの変更がない 判断根拠例[B/Cの算定方法に変更がない]	費用便益分析マニュアルの変更がない。	<input checked="" type="checkbox"/>
2. 需要量等の変更がない 判断根拠例[需要量等の減少が10%*以内]	発生集中交通量の減少がない。	<input checked="" type="checkbox"/>
3. 事業費の変化 判断根拠例[事業費の増加が10%*以内]	事業費の増加は27%(約150億円→約190億円)	<input type="checkbox"/>
4. 事業展開の変化 判断根拠例[事業期間の延長が10%*以内]	事業期間の増加は14%(14年間→16年間)	<input type="checkbox"/>
(イ) 費用対効果分析を実施することが効率的でないと判断できる場合		
・事業規模に比して費用対効果分析に要する費用が大きい 判断根拠例[直近3カ年の事業費の平均に対する分析費用1%以上] または、前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。	前回評価時における感度分析の下位ケース値が基準値を上回っている。 H26年度感度分析の下位値 [全体事業]・交通量(-10%) B/C=2.3 [残事業]・交通量(-10%) B/C=2.8 ・事業費(+10%) B/C=2.4 ・事業費(+10%) B/C=2.9 ・事業期間(+20%) B/C=2.5 ・事業期間(+20%) B/C=3.1	<input checked="" type="checkbox"/>
前回評価で費用対効果分析を実施している		<input checked="" type="checkbox"/>
以上より、費用対効果分析を実施するものとする。		

7. 費用対効果分析実施判定票

費用対効果分析実施判定票

別添様式

年度： 平成28年度

事業名： 国道470号 輪島道路(Ⅱ期)

担当課： 道路計画課

担当課長名： 東 佑亮

※各事業において全ての項目に該当する場合には、費用対効果分析を実施しないことができる。

項目	判定	
	判断根拠	チェック欄
(ア) 前回評価時において実施した費用対効果分析の要因に変化が見られない場合		
事業目的		
・事業目的に変更がない	事業目的に変更がない。	<input checked="" type="checkbox"/>
外的要因		
・事業を巡る社会経済情勢の変化がない 判断根拠例[地元情勢等の変化がない]	地元情勢等の変化がない。	<input checked="" type="checkbox"/>
内的要因<費用便益分析関係> ※ただし、有識者等の意見に基づいて、感度分析の変動幅が別に設定されている場合には、その値を使用することができる。 注)なお、下記2.~4.について、各項目が目安の範囲内であっても、複数の要因の変化によって、基準値を下回ることが想定される場合には、費用対効果分析を実施する。		
1. 費用便益分析マニュアルの変更がない 判断根拠例[B/Cの算定方法に変更がない]	費用便益分析マニュアルの変更がない。	<input checked="" type="checkbox"/>
2. 需要量等の変更がない 判断根拠例[需要量等の減少が10%※以内]	発生集中交通量の減少がない。	<input checked="" type="checkbox"/>
3. 事業費の変化 判断根拠例[事業費の増加が10%※以内]	事業費の増加は25%(約240億円→約300億円)	<input type="checkbox"/>
4. 事業展開の変化 判断根拠例[事業期間の延長が10%※以内]	事業期間の増加は36%(11年間→15年間)	<input type="checkbox"/>
(イ) 費用対効果分析を実施することが効率的でないと判断できる場合		
・事業規模に比して費用対効果分析に要する費用が大きい 判断根拠例[直近3カ年の事業費の平均に対する分析費用1%以上] または、前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。	前回評価時における感度分析の下位ケース値が基準値を上回っている。 H26年度感度分析の下位値 [全体事業]・交通量(-10%) B/C=1.6 [残事業]・交通量(-10%) B/C=1.6 ・事業費(+10%) B/C=1.6 ・事業費(+10%) B/C=1.6 ・事業期間(+20%) B/C=1.6 ・事業期間(+20%) B/C=1.7	<input checked="" type="checkbox"/>
前回評価で費用対効果分析を実施している		<input checked="" type="checkbox"/>
以上より、費用対効果分析を実施するものとする。		

客觀的評價指標抽出資料

【一般国道（高規格B）】

● 事業採択時の前提条件を確認するための指標

前提条件	(1) 事業の効率性	■ 便益が費用を上回っていること
------	------------	------------------

● 事業の効果や必要性を評価するための指標

I. 活力	(1) 円滑なモビリティの確保	● 並行区間等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率
		□ 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される
		■ 並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる
		□ 新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる
		■ 拠点空港(会社管理空港、国管理空港、特定地方管理空港)、地方管理空港もしくはその他の空港・共用空港へのアクセス向上が見込まれる
	(2) 物流効率化の支援	□ 国際拠点港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる
		□ 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる
	(3) 都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である
		□ 三大都市圏の環状道路を形成する
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり
	(4) 国土・地域ネットワークの構築	■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する
		□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する
		□ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる
	(5) 個性ある地域の形成	□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する
		■ IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である

II. 暮らし	安全で安心できる くらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる
III. 安全	(1) 安全な生活環境の 確保	□ 並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在 する場合において、交通量の減少により、当該区間の安全性の向上 が期待できる
	(2) 災害への備え	■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク 計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震 防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送 道路」という）として位置づけあり
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間 の代替路線を形成する
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する
		■ 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通 障害区間の代替路を形成する
IV. 環境	(1) 地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量
	(2) 生活環境の 改善・保全	● 並行区間等における自動車からのNO2排出削減率
		● 並行区間等における自動車からのSPM排出削減率
		□ 並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、 新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある
	□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
V. その他	他のプロジェクト との関係	■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている
	その他	□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない 効果が期待される

※○印の指標は定量的な記述により効果を確認する。

□印の指標については定性的又は定量的な記述により効果の有無を確認する。

※●、■は該当する指標を示す。

○再評価実施時点における評価指標該当項目の内容

前提条件

(1) 事業の効率性

- ・ 輪島道路 B/C=2.0 (事業全体の3便益による費用対効果)
B/C=3.7 (残事業の3便益による費用対効果)
- ・ 輪島道路(Ⅱ期) B/C=1.3 (事業全体の3便益による費用対効果)
B/C=1.4 (残事業の3便益による費用対効果)

I. 活力

(1) 円滑なモビリティの確保

- ・ 費用便益分析対象エリアの渋滞損失時間の削減=約78万人時間
(整備なし 566万人時間/年 → 整備あり 488万人時間/年) 【P6で詳述】
- ・ 輪島市と金沢市・穴水町等を連携するバスの定時性確保や快適性の向上が期待できる。
【P9で詳述】
- ・ 輪島市街地(輪島港)とのと里山空港へのアクセス性向上が期待される。
(整備なし 23分 → 整備あり 14分) 【P10で詳述】

(4) 国土・地域ネットワークの構築

- ・ 輪島市と穴水町を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する。
【P6で詳述】

(5) 個性ある地域の形成

- ・ 輪島朝市や輪島温泉郷などの豊富な観光資源への周遊性向上や入込み客数の増加が期待される。
【P11で詳述】

II. 暮らし

安全で安心できる暮らしの確保

- ・ 第三次医療施設である能登総合病院への60分圏域カバー人口が増加。
(整備なし 約23.0千人 → 整備あり 約24.6千人) 【P9で詳述】

III. 安全

(2) 災害への備え

- ・ 「石川県地域防災計画」の第1次緊急輸送道路ネットワークとして位置付けがあるが、法面崩落の危険がある特殊通行規制区間が存在。輪島道路の整備により特殊通行規制区間を回避するとともに、リダンダンシーが確保され、緊急輸送道路ネットワーク機能が強化される。
【P8で詳述】

IV. 環境

(1) 地球環境の保全

- ・ 費用便益分析対象エリアのCO₂排出量の削減量=3,159.9t-co₂/年
(整備なし 133,580.0t-co₂/年 → 整備あり 130,420.1t-co₂/年)

(2) 生活環境の改善・保全

- ・ 費用便益分析対象エリアのNO_x排出量の削減量=8.3t-NO_x/年
(整備なし 352.4t-NO_x/年 → 整備あり 344.1t-NO_x/年)
- ・ 費用便益分析対象エリアのSPM排出量の削減量=1.1t-SPM/年
(整備なし 33.4t-SPM/年 → 整備あり 32.3t-SPM/年)

V. その他

(1) 他のプロジェクトとの関連

- ・ 石川県の新長期構想「ダブルラダー輝きの美知」構想に位置づけられており、南北に長い県土の交通ネットワークの多重化や北陸新幹線開業効果を県内全域に波及させる等、構想の実現に大きく貢献。
【P12で詳述】

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他別
国道470号 (能越自動車道)	輪島道路	L=4.7km	高規格B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
9,000	2	北陸地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成28年度		
単純合計	177億円	59億円	237億円
うち残事業分	93億円	59億円	152億円
基準年における 現在価値 (C)	173億円	21億円	194億円
うち残事業分	84億円	21億円	105億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成28年度			
供用年	平成34年度			
単年便益 (初年便益)	21億円	2.8億円	1.3億円	25億円
基準年における 現在価値 (B)	325億円	44億円	20億円	388億円
うち残事業分	325億円	44億円	20億円	388億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	2.0
経済的純現在価値（事業全体）	195億円
経済的内部収益率（事業全体）	8.3%
費用便益比（残事業）	3.7
経済的純現在価値（残事業）	284億円
経済的内部収益率（残事業）	16.8%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	9,000	±10%	1.8~2.2
事業費	177億円	±10%	1.8~2.1
事業期間	16年	±20%	1.9~2.1

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	9,000	±10%	3.4~4.0
事業費	93億円	±10%	3.2~4.0
事業期間	5年	±20%	3.6~3.8

交通状況の変化

事業名 国道470号 輪島道路

様式-3①

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [輪島道路] :4.7km	交通量 ^{※1}	[台/日]		9,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]		4	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]		5.55	
②主な周辺道路 ^{※4}	A.(主)七尾輪島線 :9.6km	交通量	[台/日]	4,200	800
		走行時間	[分]	18	15
		走行時間費用	[億円/年]	13.57	2.00
	B.(主)輪島富来線 :11.5km	交通量	[台/日]	700	400
		走行時間	[分]	18	18
		走行時間費用	[億円/年]	2.15	1.10
	C.(主)輪島山田線 :10.9km	交通量	[台/日]	2,000	600
		走行時間	[分]	18	18
		走行時間費用	[億円/年]	7.14	2.57
	D.(一)漆原下出線 :3.6km	交通量	[台/日]	5,000	600
		走行時間	[分]	8	6
		走行時間費用	[億円/年]	7.12	0.77
③その他道路合計 L=907.0km	走行時間費用	[億円/年]	450.81	448.98	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 947.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	480.79	460.97	19.82

※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

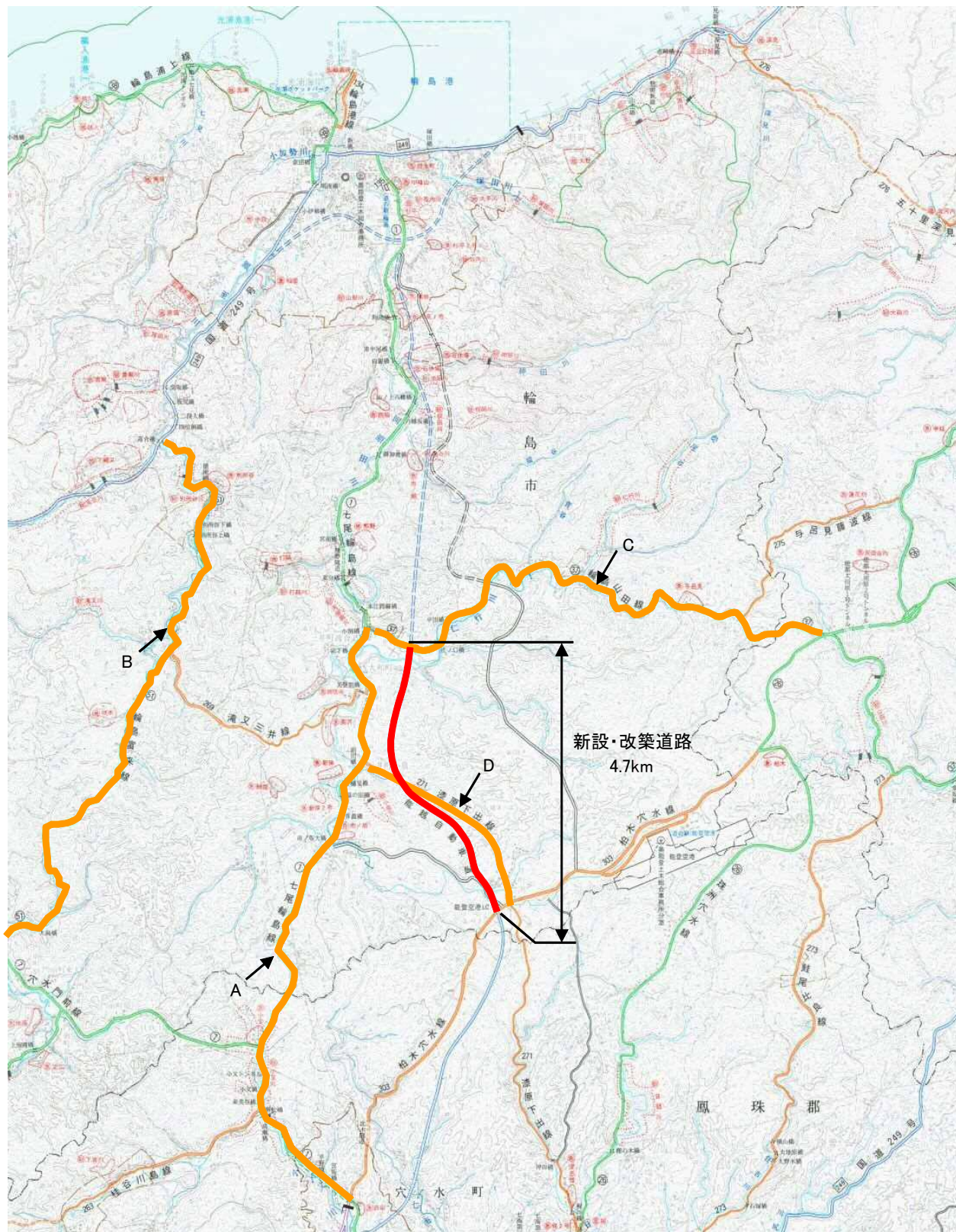
※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名： 国道470号 輪島道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	H28年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42年)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17年センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他()	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他(最終配分でQ ₀ を超える場合、実態に即した速度で補正)	<input checked="" type="checkbox"/>		

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数	() %
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
	とり止め交通を考慮する		<input type="checkbox"/>	
	とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載			
	冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数(年あたり)	(82) 日
採用した冬期日数の考え方を記載				
降雪が最初に観測された日から最後に観測された日までの日数(82日)及び降雪日数(29日)を考慮				
冬期の走行速度と交通容量の関係				
設定の考え方を記載				
通常期と冬期の速度比(降雪時14%低下、降雪時以外6%低下)を考慮				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名： 国道470号 輪島道路

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 北陸地方整備局管内直轄路線の実績値から設定		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
			当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他				
4. その他				

費用の現在価値算定表（事業全体）

箇所名：国道470号（能越自動車道）輪島道路				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)					
				単価(億円)		延長(km)		単純単価(億円)	
				0.27		4.7		1.28	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)			
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値		
-16年目	H 18	1.4802	98.7	0.48	0.67				
-15年目	H 19	1.4233	97.6	3.52	4.79				
-14年目	H 20	1.3686	96.8	0.23	0.30				
-13年目	H 21	1.3159	95.6	0.30	0.39				
-12年目	H 22	1.2653	93.7	1.84	2.33				
-11年目	H 23	1.2167	92.1	2.24	2.76				
-10年目	H 24	1.1699	91.3	1.95	2.31				
-9年目	H 25	1.1249	91.1	5.59	6.36				
-8年目	H 26	1.0816	93.3	20.59	22.27				
-7年目	H 27	1.0400	93.3	26.59	27.66				
-6年目	H 28	1.0000	93.3	21.02	21.02				
-5年目	H 29	0.9615	93.3	21.68	20.85				
-4年目	H 30	0.9246	93.3	23.33	21.57				
-3年目	H 31	0.8890	93.3	20.46	18.19				
-2年目	H 32	0.8548	93.3	18.06	15.43				
-1年目	H 33	0.8219	93.3	9.45	7.77				
供用開始年次	H 34	0.7903	93.3			1.19	0.94		
1年目	H 35	0.7599	93.3			1.19	0.90		
2年目	H 36	0.7307	93.3			1.19	0.87		
3年目	H 37	0.7026	93.3			1.19	0.83		
4年目	H 38	0.6756	93.3			1.19	0.80		
5年目	H 39	0.6496	93.3			1.19	0.77		
6年目	H 40	0.6246	93.3			1.19	0.74		
7年目	H 41	0.6006	93.3			1.19	0.71		
8年目	H 42	0.5775	93.3			1.19	0.68		
9年目	H 43	0.5553	93.3			1.19	0.66		
10年目	H 44	0.5339	93.3			1.19	0.63		
11年目	H 45	0.5134	93.3			1.19	0.61		
12年目	H 46	0.4936	93.3			1.19	0.59		
13年目	H 47	0.4746	93.3			1.19	0.56		
14年目	H 48	0.4564	93.3			1.19	0.54		
15年目	H 49	0.4388	93.3			1.19	0.52		
16年目	H 50	0.4220	93.3			1.19	0.50		
17年目	H 51	0.4057	93.3			1.19	0.48		
18年目	H 52	0.3901	93.3			1.19	0.46		
19年目	H 53	0.3751	93.3			1.19	0.44		
20年目	H 54	0.3607	93.3			1.19	0.43		
21年目	H 55	0.3468	93.3			1.19	0.41		
22年目	H 56	0.3335	93.3			1.19	0.40		
23年目	H 57	0.3207	93.3			1.19	0.38		
24年目	H 58	0.3083	93.3			1.19	0.37		
25年目	H 59	0.2965	93.3			1.19	0.35		
26年目	H 60	0.2851	93.3			1.19	0.34		
27年目	H 61	0.2741	93.3			1.19	0.32		
28年目	H 62	0.2636	93.3			1.19	0.31		
29年目	H 63	0.2534	93.3			1.19	0.30		
30年目	H 64	0.2437	93.3			1.19	0.29		
31年目	H 65	0.2343	93.3			1.19	0.28		
32年目	H 66	0.2253	93.3			1.19	0.27		
33年目	H 67	0.2166	93.3			1.19	0.26		
34年目	H 68	0.2083	93.3			1.19	0.25		
35年目	H 69	0.2003	93.3			1.19	0.24		
36年目	H 70	0.1926	93.3			1.19	0.23		
37年目	H 71	0.1852	93.3			1.19	0.22		
38年目	H 72	0.1780	93.3			1.19	0.21		
39年目	H 73	0.1712	93.3			1.19	0.20		
40年目	H 74	0.1646	93.3			1.19	0.20		
41年目	H 75	0.1583	93.3			1.19	0.19		
42年目	H 76	0.1522	93.3			1.19	0.18		
43年目	H 77	0.1463	93.3			1.19	0.17		
44年目	H 78	0.1407	93.3			1.19	0.17		
45年目	H 79	0.1353	93.3			1.19	0.16		
46年目	H 80	0.1301	93.3			1.19	0.15		
47年目	H 81	0.1251	93.3			1.19	0.15		
48年目	H 82	0.1203	93.3			1.19	0.14		
49年目	H 83	0.1157	93.3	-15.20	-1.76	1.19	0.14		
合計				162.16	172.91	59.26	20.94		
単純事業費計				177.36		59.26			

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表（残事業）

箇所名: 国道470号(能越自動車道)輪島道路				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.27	4.7	1.28	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-3年目	H 28	1.0000	93.3				
-3年目	H 29	0.9615	93.3	21.68	20.85		
-3年目	H 30	0.9246	93.3	23.33	21.57		
-3年目	H 31	0.8890	93.3	20.46	18.19		
-2年目	H 32	0.8548	93.3	18.06	15.43		
-1年目	H 33	0.8219	93.3	9.45	7.77		
供用開始年次	H 34	0.7903	93.3			1.19	0.94
1年目	H 35	0.7599	93.3			1.19	0.90
2年目	H 36	0.7307	93.3			1.19	0.87
3年目	H 37	0.7026	93.3			1.19	0.83
4年目	H 38	0.6756	93.3			1.19	0.80
5年目	H 39	0.6496	93.3			1.19	0.77
6年目	H 40	0.6246	93.3			1.19	0.74
7年目	H 41	0.6006	93.3			1.19	0.71
8年目	H 42	0.5775	93.3			1.19	0.68
9年目	H 43	0.5553	93.3			1.19	0.66
10年目	H 44	0.5339	93.3			1.19	0.63
11年目	H 45	0.5134	93.3			1.19	0.61
12年目	H 46	0.4936	93.3			1.19	0.59
13年目	H 47	0.4746	93.3			1.19	0.56
14年目	H 48	0.4564	93.3			1.19	0.54
15年目	H 49	0.4388	93.3			1.19	0.52
16年目	H 50	0.4220	93.3			1.19	0.50
17年目	H 51	0.4057	93.3			1.19	0.48
18年目	H 52	0.3901	93.3			1.19	0.46
19年目	H 53	0.3751	93.3			1.19	0.44
20年目	H 54	0.3607	93.3			1.19	0.43
21年目	H 55	0.3468	93.3			1.19	0.41
22年目	H 56	0.3335	93.3			1.19	0.40
23年目	H 57	0.3207	93.3			1.19	0.38
24年目	H 58	0.3083	93.3			1.19	0.37
25年目	H 59	0.2965	93.3			1.19	0.35
26年目	H 60	0.2851	93.3			1.19	0.34
27年目	H 61	0.2741	93.3			1.19	0.32
28年目	H 62	0.2636	93.3			1.19	0.31
29年目	H 63	0.2534	93.3			1.19	0.30
30年目	H 64	0.2437	93.3			1.19	0.29
31年目	H 65	0.2343	93.3			1.19	0.28
32年目	H 66	0.2253	93.3			1.19	0.27
33年目	H 67	0.2166	93.3			1.19	0.26
34年目	H 68	0.2083	93.3			1.19	0.25
35年目	H 69	0.2003	93.3			1.19	0.24
36年目	H 70	0.1926	93.3			1.19	0.23
37年目	H 71	0.1852	93.3			1.19	0.22
38年目	H 72	0.1780	93.3			1.19	0.21
39年目	H 73	0.1712	93.3			1.19	0.20
40年目	H 74	0.1646	93.3			1.19	0.20
41年目	H 75	0.1583	93.3			1.19	0.19
42年目	H 76	0.1522	93.3			1.19	0.18
43年目	H 77	0.1463	93.3			1.19	0.17
44年目	H 78	0.1407	93.3			1.19	0.17
45年目	H 79	0.1353	93.3			1.19	0.16
46年目	H 80	0.1301	93.3			1.19	0.15
47年目	H 81	0.1251	93.3			1.19	0.15
48年目	H 82	0.1203	93.3			1.19	0.14
49年目	H 83	0.1157	93.3	-0.24	-0.03	1.19	0.14
合計				92.75	83.78	59.26	20.94
単純事業費計					92.99	59.26	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表 (事業全体・残事業)

箇所名: 国道470号(能越自動車道) 輪島道路

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (北陸7ルート)				割引率 (A)	GDP デフレ率	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)				交通事故減少便益(億円)			合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~④)	現在価値 割引率4%
		1年目	H 34	0.99585	0.98542			0.98032	0.99275	0.7903	93.3	15.92	3.60	1.49	21.01	16.60	2.18	0.42	0.22	2.82	2.23
2年目	H 35	0.99583	0.98520	0.97992	0.99270	0.7599	93.3	15.85	3.55	1.46	20.86	15.85	2.17	0.42	0.22	2.80	2.13	1.28	0.97	24.94	18.95
3年目	H 36	0.99581	0.98498	0.97951	0.99264	0.7307	93.3	15.78	3.50	1.43	20.71	15.13	2.16	0.41	0.21	2.78	2.03	1.27	0.93	24.76	18.09
4年目	H 37	0.99579	0.98475	0.97908	0.99259	0.7026	93.3	15.72	3.44	1.40	20.56	14.45	2.15	0.41	0.21	2.76	1.94	1.26	0.89	24.59	17.27
5年目	H 38	0.99578	0.98452	0.97864	0.99253	0.6756	93.3	15.65	3.39	1.37	20.42	13.79	2.14	0.40	0.20	2.74	1.85	1.25	0.84	24.41	16.49
6年目	H 39	0.99576	0.98427	0.97817	0.99248	0.6496	93.3	15.59	3.34	1.35	20.27	13.17	2.13	0.39	0.20	2.72	1.77	1.24	0.81	24.23	15.74
7年目	H 40	0.99574	0.98402	0.97768	0.99242	0.6246	93.3	15.52	3.29	1.32	20.12	12.57	2.12	0.39	0.20	2.70	1.69	1.23	0.77	24.06	15.03
8年目	H 41	0.99572	0.98376	0.97717	0.99236	0.6006	93.3	15.45	3.23	1.29	19.97	12.00	2.11	0.38	0.19	2.68	1.61	1.22	0.73	23.88	14.34
9年目	H 42	0.99077	0.99335	1.00200	0.99205	0.5775	93.3	15.39	3.18	1.26	19.82	11.45	2.10	0.37	0.19	2.66	1.54	1.21	0.70	23.70	13.69
10年目	H 43	0.99069	0.99330	1.00200	0.99199	0.5553	93.3	15.25	3.16	1.26	19.66	10.92	2.08	0.37	0.19	2.64	1.47	1.20	0.67	23.51	13.06
11年目	H 44	0.99060	0.99326	1.00200	0.99193	0.5339	93.3	15.10	3.14	1.26	19.50	10.41	2.06	0.37	0.19	2.62	1.40	1.19	0.64	23.32	12.45
12年目	H 45	0.99051	0.99321	1.00199	0.99186	0.5134	93.3	14.96	3.12	1.26	19.34	9.93	2.04	0.37	0.19	2.60	1.33	1.18	0.61	23.13	11.87
13年目	H 46	0.99042	0.99316	1.00199	0.99179	0.4936	93.3	14.82	3.10	1.27	19.18	9.47	2.03	0.36	0.19	2.58	1.27	1.17	0.58	22.94	11.32
14年目	H 47	0.99033	0.99312	1.00198	0.99173	0.4746	93.3	14.68	3.07	1.27	19.02	9.03	2.01	0.36	0.19	2.56	1.21	1.17	0.55	22.74	10.79
15年目	H 48	0.99023	0.99307	1.00198	0.99166	0.4564	93.3	14.54	3.05	1.27	18.86	8.61	1.99	0.36	0.19	2.54	1.16	1.16	0.53	22.55	10.29
16年目	H 49	0.99014	0.99302	1.00198	0.99159	0.4388	93.3	14.39	3.03	1.27	18.70	8.21	1.97	0.36	0.19	2.51	1.10	1.15	0.50	22.36	9.81
17年目	H 50	0.99004	0.99297	1.00197	0.99152	0.4220	93.3	14.25	3.01	1.28	18.54	7.82	1.95	0.35	0.19	2.49	1.05	1.14	0.48	22.17	9.36
18年目	H 51	0.98994	0.99292	1.00197	0.99144	0.4057	93.3	14.11	2.99	1.28	18.38	7.46	1.93	0.35	0.19	2.47	1.00	1.13	0.46	21.98	8.92
19年目	H 52	0.98984	0.99287	1.00196	0.99137	0.3901	93.3	13.97	2.97	1.28	18.22	7.11	1.91	0.35	0.19	2.45	0.96	1.12	0.44	21.78	8.50
20年目	H 53	0.98973	0.99282	1.00196	0.99129	0.3751	93.3	13.83	2.95	1.28	18.06	6.77	1.89	0.35	0.19	2.43	0.91	1.11	0.42	21.59	8.10
21年目	H 54	0.98963	0.99277	1.00196	0.99122	0.3607	93.3	13.68	2.93	1.29	17.90	6.46	1.87	0.35	0.19	2.41	0.87	1.10	0.40	21.40	7.72
22年目	H 55	0.98952	0.99272	1.00195	0.99114	0.3468	93.3	13.54	2.90	1.29	17.74	6.15	1.85	0.34	0.19	2.38	0.83	1.09	0.38	21.21	7.36
23年目	H 56	0.98941	0.99266	1.00195	0.99106	0.3335	93.3	13.40	2.88	1.29	17.58	5.86	1.83	0.34	0.19	2.36	0.79	1.08	0.36	21.02	7.01
24年目	H 57	0.98929	0.99261	1.00194	0.99098	0.3207	93.3	13.26	2.86	1.30	17.42	5.59	1.81	0.34	0.19	2.34	0.75	1.07	0.34	20.83	6.68
25年目	H 58	0.98918	0.99255	1.00194	0.99090	0.3083	93.3	13.12	2.84	1.30	17.26	5.32	1.79	0.34	0.19	2.32	0.72	1.06	0.33	20.63	6.36
26年目	H 59	0.98906	0.99250	1.00194	0.99081	0.2965	93.3	12.97	2.82	1.30	17.09	5.07	1.77	0.33	0.19	2.30	0.68	1.05	0.31	20.44	6.06
27年目	H 60	0.98894	0.99244	1.00193	0.99073	0.2851	93.3	12.83	2.80	1.30	16.93	4.83	1.75	0.33	0.19	2.28	0.65	1.04	0.30	20.25	5.77
28年目	H 61	0.98881	0.99238	1.00193	0.99064	0.2741	93.3	12.69	2.78	1.31	16.77	4.60	1.73	0.33	0.19	2.26	0.62	1.03	0.28	20.06	5.50
29年目	H 62	0.98870	0.99233	1.00193	0.99056	0.2636	93.3	12.55	2.76	1.31	16.61	4.38	1.71	0.33	0.19	2.23	0.59	1.02	0.27	19.87	5.24
30年目	H 63	0.98859	0.99228	1.00193	0.99048	0.2534	93.3	12.41	2.74	1.31	16.45	4.17	1.70	0.32	0.19	2.21	0.56	1.01	0.26	19.68	4.99
31年目	H 64	0.98848	0.99223	1.00193	0.99040	0.2437	93.3	12.26	2.71	1.31	16.29	3.97	1.68	0.32	0.20	2.19	0.53	1.00	0.24	19.48	4.75
32年目	H 65	0.98837	0.99218	1.00193	0.99032	0.2343	93.3	12.12	2.69	1.32	16.13	3.78	1.66	0.32	0.20	2.17	0.51	0.99	0.23	19.29	4.52
33年目	H 66	0.98826	0.99213	1.00193	0.99024	0.2253	93.3	11.98	2.67	1.32	15.97	3.60	1.64	0.32	0.20	2.15	0.48	0.98	0.22	19.10	4.30
34年目	H 67	0.98815	0.99208	1.00193	0.99016	0.2166	93.3	11.84	2.65	1.32	15.81	3.43	1.62	0.31	0.20	2.13	0.46	0.97	0.21	18.91	4.10
35年目	H 68	0.98804	0.99203	1.00193	0.99008	0.2083	93.3	11.70	2.63	1.32	15.65	3.26	1.60	0.31	0.20	2.11	0.44	0.96	0.20	18.72	3.90
36年目	H 69	0.98793	0.99198	1.00193	0.99000	0.2003	93.3	11.56	2.61	1.33	15.50	3.10	1.58	0.31	0.20	2.08	0.42	0.95	0.19	18.53	3.71
37年目	H 70	0.98782	0.99193	1.00193	0.98992	0.1926	93.3	11.42	2.59	1.33	15.34	2.95	1.56	0.31	0.20	2.06	0.40	0.94	0.18	18.35	3.53
38年目	H 71	0.98771	0.99188	1.00193	0.98984	0.1852	93.3	11.28	2.57	1.33	15.18	2.81	1.54	0.30	0.20	2.04	0.38	0.93	0.17	18.16	3.36
39年目	H 72	0.98760	0.99183	1.00193	0.98976	0.1780	93.3	11.14	2.55	1.33	15.02	2.67	1.52	0.30	0.20	2.02	0.36	0.92	0.16	17.97	3.20
40年目	H 73	0.98749	0.99178	1.00193	0.98968	0.1712	93.3	11.01	2.53	1.34	14.87	2.55	1.50	0.30	0.20	2.00	0.34	0.92	0.16	17.78	3.04
41年目	H 74	0.98738	0.99173	1.00193	0.98960	0.1646	93.3	10.87	2.51	1.34	14.71	2.42	1.49	0.30	0.20	1.98	0.33	0.91	0.15	17.60	2.90
42年目	H 75	0.98727	0.99168	1.00193	0.98952	0.1583	93.3	10.73	2.48	1.34	14.56	2.30	1.47	0.29	0.20	1.96	0.31	0.90	0.14	17.41	2.76
43年目	H 76	0.98716	0.99163	1.00193	0.98944	0.1522	93.3	10.59	2.46	1.34	14.40	2.19	1.45	0.29	0.20	1.94	0.29	0.89	0.14	17.23	2.62
44年目	H 77	0.98705	0.99158	1.00193	0.98936	0.1463	93.3	10.46	2.44	1.35	14.25	2.08	1.43	0.29	0.20	1.92	0.28	0.88	0.13	17.04	2.49
45年目	H 78	0.98694	0.99153	1.00193	0.98928	0.1407	93.3	10.32	2.42	1.35	14.09	1.98	1.41	0.29	0.20	1.90	0.27	0.87	0.12	16.86	2.37
46年目	H 79	0.98683	0.99148	1.00193	0.98920	0.1353	93.3	10.19	2.40	1.35	13.94	1.89	1.39	0.28	0.20	1.88	0.25	0.86	0.12	16.68	2.26
47年目	H 80	0.98672	0.99143	1.00193	0.98912	0.1301	93.3	10.05	2.38	1.35	13.79	1.79	1.37	0.28	0.20	1.86	0.24	0.85	0.11	16.50	2.15
48年目	H 81	0.98661	0.99138	1.00193	0.98904	0.1251	93.3	9.92	2.36	1.36	13.64	1.71	1.36	0.28	0.20	1.84	0.23	0.84	0.11	16.31	2.04
49年目	H 82	0.98650	0.99133	1.00193	0.98896	0.1203	93.3	9.79	2.34	1.36	13.49	1.62	1.34	0.28	0.20	1.82	0.22	0.83	0.10	16.13	1.94
合計	H 83	0.98639	0.99128	1.00193	0.98888	0.1157	93.3	9.66	2.32	1.36	13.34	1.54	1.32	0.27	0.20	1.80	0.21	0.82	0.10	15.96	1.85

路線名	箇所名	車線数	延長
国道470号 (能越自動車道)	輪島道路	2	4.7km

■事業費内訳【事業全体】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				15,224	
	改良費				8,612	
		土工	m ³	2,029,297	1,385	
		軟弱地盤改良工	m ³	458,156	1,402	
		法面工	m ²	165,109	4,202	切土法面、盛土法面、法面对策等
		擁壁工	式	1	429	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	1,405	118	
		函渠工	式	1	643	
		排水工	m	32,042	322	
		中央分離帯工	m	5,568	85	
		雑工	式	1	26	機能補償道路(1,112m)・水路(103m)等
	橋梁費				4,608	
		100m以上	m	653	3,821	3橋
		100m未満	m	156	715	2橋
		跨道橋	m	51	71	1橋
	IC・JCT費				701	
		IC	箇所	2	701	ダイヤモンド型(1)、平面Y型(1)
	舗装費				827	
		車道舗装	m ²	82,884	827	
	付帯施設費				477	
		交通管理施設工	式	1	477	標識工、防護柵工、道路照明等
②	用地及補償費				1,640	
	用地費		m ²	1,882,851	1,520	
		宅地	m ²	10,682	107	
		田畑	m ²	316,339	791	
		山林・原野	m ²	1,555,830	622	
	補償費		式	1	120	
③	間接経費		式	1	2,136	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				19,000	

路線名	箇所名	車線数	延長
国道470号 (能越自動車道)	輪島道路	2	4.7km

■事業費内訳【残事業】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				9,142	
	改良費				3,354	
		土工	m ³	665,383	454	
		軟弱地盤改良工	m ³	150,224	460	
		法面工	m ²	54,137	1,191	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	429	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	1,310	114	
		函渠工	式	1	282	
		排水工	m	31,405	314	
		中央分離帯工	m	5,568	85	
		雑工	式	1	26	機能補償道路(1,112m)・水路(103m)等
	橋梁費				3,986	
		100m以上	m	653	3,631	3橋
		100m未満	m	156	283	2橋
		跨道橋	m	51	71	1橋
	IC・JCT費				498	
		IC	箇所	2	498	ダイヤモンド型(1)、平面Y型(1)
	舗装費				827	
		車道舗装	m ²	82,884	827	
	付帯施設費				477	
		交通管理施設工	式	1	477	標識工、防護柵工、道路照明等
②	用地及補償費				94	
	用地費		m ²	30,518	24	
		宅地	m ²			
		田畑	m ²	5,630	14	
		山林・原野	m ²	24,888	10	
	補償費		式	1	70	
③	間接経費		式	1	805	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				10,041	

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
国道470号(能越自動車道)	輪島道路	2	4.7km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	4.7	1,750	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,650	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			6,400	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他別
国道470号 (能越自動車道)	輪島道路 (Ⅱ期)	L=6.8km	高規格B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
9,000	2	北陸地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成28年度		
単純合計	278億円	52億円	330億円
うち残事業分	259億円	52億円	311億円
基準年における 現在価値(C)	222億円	15億円	237億円
うち残事業分	202億円	15億円	217億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成28年度			
供用年	平成39年度			
単年便益 (初年便益)	21億円	2.6億円	1.5億円	25億円
基準年における 現在価値(B)	259億円	33億円	19億円	311億円
うち残事業分	259億円	33億円	19億円	311億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.3
経済的純現在価値（事業全体）	74億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.5%
費用便益比（残事業）	1.4
経済的純現在価値（残事業）	94億円
経済的内部収益率（残事業）	6.1%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	9,000	±10%	1.2~1.4
事業費	278億円	±10%	1.2~1.4
事業期間	15年	±20%	1.2~1.4

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	9,000	±10%	1.3~1.6
事業費	259億円	±10%	1.3~1.6
事業期間	10年	±20%	1.4~1.5

交通状況の変化

様式-3①

事業名 国道470号 輪島道路(Ⅱ期)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [輪島道路] :6.8km	交通量 ^{※1}	[台/日]		9,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]		5	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]		8.08	
②主な周辺道路 ^{※4}	A.(主)七尾輪島線 :7.2km	交通量	[台/日]	8,300	300
		走行時間	[分]	17	11
		走行時間費用	[億円/年]	24.11	0.65
	B.(主)輪島山田線 :1.0km	交通量	[台/日]	8,300	300
		走行時間	[分]	2	1
		走行時間費用	[億円/年]	2.33	0.06
③その他道路合計 L=932.3km	走行時間費用	[億円/年]	454.61	452.18	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 947.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	481.05	460.97	20.09

※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

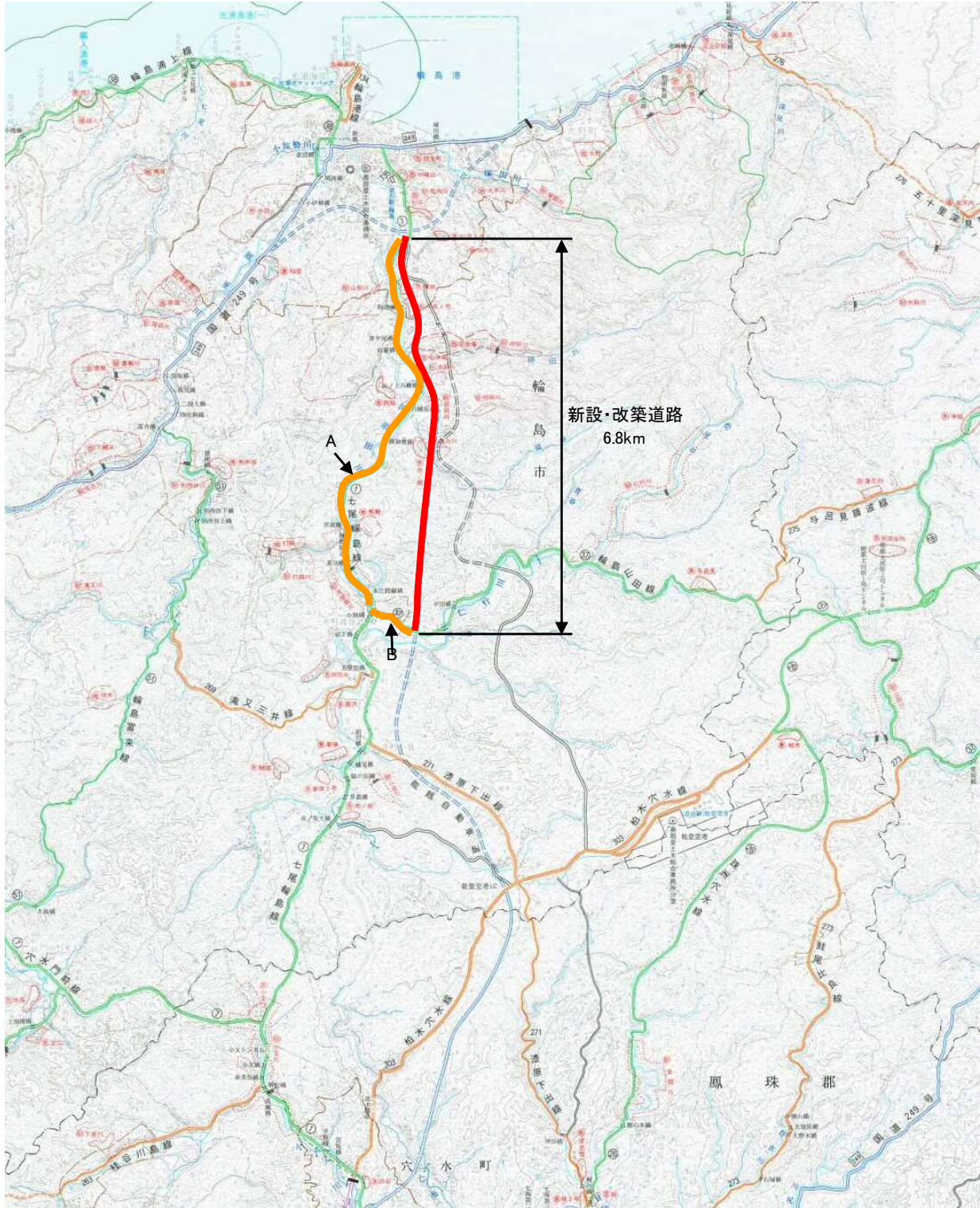
※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：国道470号 輪島道路(Ⅱ期)

(2)

		項目	チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)		<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他		<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間		50年	
	社会的割引率		4%	
	基準年次		H28年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42年)	
		複数時点での推計		<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)		<input checked="" type="checkbox"/> (H17年センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)		<input type="checkbox"/>
		その他()		<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無		<input checked="" type="checkbox"/>
		有		<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分		<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分		<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分		<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		<input type="checkbox"/>	
	簡易手法		<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である		<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない		<input type="checkbox"/>
	その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載			
	最終配分の速度		<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載			
	その他(最終配分でQ ₀ を超える場合、実態に即した速度で補正)		<input checked="" type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
		採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
	考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数(年あたり) 採用した冬期日数の考え方を記載	(82) 日
		降雪が最初に観測された日から最後に観測された日までの日数(82日)及び降雪日数(29日)を考慮	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
通常期と冬期の速度比(降雪時14%低下、降雪時以外6%低下)を考慮			
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

事業名：国道470号 輪島道路(Ⅱ期)

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 北陸地方整備局管内直轄路線の実績値から設定		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
			当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表（事業全体）

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名: 国道470号(能越自動車道)輪島道路(Ⅱ期)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.16	6.8	1.12	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-15年目	H 24	1.1699	91.3	0.95	1.14		
-14年目	H 25	1.1249	91.1	1.90	2.19		
-13年目	H 26	1.0816	93.3	2.31	2.50		
-12年目	H 27	1.0400	93.3	6.88	7.15		
-11年目	H 28	1.0000	93.3	6.92	6.92		
-10年目	H 29	0.9615	93.3	7.91	7.60		
-9年目	H 30	0.9246	93.3	7.88	7.29		
-8年目	H 31	0.8890	93.3	9.26	8.23		
-7年目	H 32	0.8548	93.3	18.24	15.59		
-6年目	H 33	0.8219	93.3	40.00	32.88		
-5年目	H 34	0.7903	93.3	49.17	38.86		
-4年目	H 35	0.7599	93.3	42.59	32.37		
-3年目	H 36	0.7307	93.3	41.11	30.04		
-2年目	H 37	0.7026	93.3	27.78	19.52		
-1年目	H 38	0.6756	93.3	15.37	10.38		
供用開始年次	H 39	0.6496	93.3			1.04	0.67
1年目	H 40	0.6246	93.3			1.04	0.65
2年目	H 41	0.6006	93.3			1.04	0.62
3年目	H 42	0.5775	93.3			1.04	0.60
4年目	H 43	0.5553	93.3			1.04	0.58
5年目	H 44	0.5339	93.3			1.04	0.55
6年目	H 45	0.5134	93.3			1.04	0.53
7年目	H 46	0.4936	93.3			1.04	0.51
8年目	H 47	0.4746	93.3			1.04	0.49
9年目	H 48	0.4564	93.3			1.04	0.47
10年目	H 49	0.4388	93.3			1.04	0.46
11年目	H 50	0.4220	93.3			1.04	0.44
12年目	H 51	0.4057	93.3			1.04	0.42
13年目	H 52	0.3901	93.3			1.04	0.40
14年目	H 53	0.3751	93.3			1.04	0.39
15年目	H 54	0.3607	93.3			1.04	0.37
16年目	H 55	0.3468	93.3			1.04	0.36
17年目	H 56	0.3335	93.3			1.04	0.35
18年目	H 57	0.3207	93.3			1.04	0.33
19年目	H 58	0.3083	93.3			1.04	0.32
20年目	H 59	0.2965	93.3			1.04	0.31
21年目	H 60	0.2851	93.3			1.04	0.30
22年目	H 61	0.2741	93.3			1.04	0.28
23年目	H 62	0.2636	93.3			1.04	0.27
24年目	H 63	0.2534	93.3			1.04	0.26
25年目	H 64	0.2437	93.3			1.04	0.25
26年目	H 65	0.2343	93.3			1.04	0.24
27年目	H 66	0.2253	93.3			1.04	0.23
28年目	H 67	0.2166	93.3			1.04	0.22
29年目	H 68	0.2083	93.3			1.04	0.22
30年目	H 69	0.2003	93.3			1.04	0.21
31年目	H 70	0.1926	93.3			1.04	0.20
32年目	H 71	0.1852	93.3			1.04	0.19
33年目	H 72	0.1780	93.3			1.04	0.18
34年目	H 73	0.1712	93.3			1.04	0.18
35年目	H 74	0.1646	93.3			1.04	0.17
36年目	H 75	0.1583	93.3			1.04	0.16
37年目	H 76	0.1522	93.3			1.04	0.16
38年目	H 77	0.1463	93.3			1.04	0.15
39年目	H 78	0.1407	93.3			1.04	0.15
40年目	H 79	0.1353	93.3			1.04	0.14
41年目	H 80	0.1301	93.3			1.04	0.13
42年目	H 81	0.1251	93.3			1.04	0.13
43年目	H 82	0.1203	93.3			1.04	0.12
44年目	H 83	0.1157	93.3			1.04	0.12
45年目	H 84	0.1112	93.3			1.04	0.12
46年目	H 85	0.1069	93.3			1.04	0.11
47年目	H 86	0.1028	93.3			1.04	0.11
48年目	H 87	0.0989	93.3			1.04	0.10
49年目	H 88	0.0951	93.3	-5.65	-0.54	1.04	0.10
合計				272.63	222.12	51.85	15.02
単純事業費計				278.28		51.85	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表（残事業）

箇所名：国道470号（能越自動車道）輪島道路（Ⅱ期）				維持管理費の単純単価の算出（消費税相当額含む）			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.16	6.8	1.12	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-11年目	H 28	1.0000	93.3				
-10年目	H 29	0.9615	93.3	7.91	7.60		
-9年目	H 30	0.9246	93.3	7.88	7.29		
-8年目	H 31	0.8890	93.3	9.26	8.23		
-7年目	H 32	0.8548	93.3	18.24	15.59		
-6年目	H 33	0.8219	93.3	40.00	32.88		
-5年目	H 34	0.7903	93.3	49.17	38.86		
-4年目	H 35	0.7599	93.3	42.59	32.37		
-3年目	H 36	0.7307	93.3	41.11	30.04		
-2年目	H 37	0.7026	93.3	27.78	19.52		
-1年目	H 38	0.6756	93.3	15.37	10.38		
供用開始年次	H 39	0.6496	93.3			1.04	0.67
1年目	H 40	0.6246	93.3			1.04	0.65
2年目	H 41	0.6006	93.3			1.04	0.62
3年目	H 42	0.5775	93.3			1.04	0.60
4年目	H 43	0.5553	93.3			1.04	0.58
5年目	H 44	0.5339	93.3			1.04	0.55
6年目	H 45	0.5134	93.3			1.04	0.53
7年目	H 46	0.4936	93.3			1.04	0.51
8年目	H 47	0.4746	93.3			1.04	0.49
9年目	H 48	0.4564	93.3			1.04	0.47
10年目	H 49	0.4388	93.3			1.04	0.46
11年目	H 50	0.4220	93.3			1.04	0.44
12年目	H 51	0.4057	93.3			1.04	0.42
13年目	H 52	0.3901	93.3			1.04	0.40
14年目	H 53	0.3751	93.3			1.04	0.39
15年目	H 54	0.3607	93.3			1.04	0.37
16年目	H 55	0.3468	93.3			1.04	0.36
17年目	H 56	0.3335	93.3			1.04	0.35
18年目	H 57	0.3207	93.3			1.04	0.33
19年目	H 58	0.3083	93.3			1.04	0.32
20年目	H 59	0.2965	93.3			1.04	0.31
21年目	H 60	0.2851	93.3			1.04	0.30
22年目	H 61	0.2741	93.3			1.04	0.28
23年目	H 62	0.2636	93.3			1.04	0.27
24年目	H 63	0.2534	93.3			1.04	0.26
25年目	H 64	0.2437	93.3			1.04	0.25
26年目	H 65	0.2343	93.3			1.04	0.24
27年目	H 66	0.2253	93.3			1.04	0.23
28年目	H 67	0.2166	93.3			1.04	0.22
29年目	H 68	0.2083	93.3			1.04	0.22
30年目	H 69	0.2003	93.3			1.04	0.21
31年目	H 70	0.1926	93.3			1.04	0.20
32年目	H 71	0.1852	93.3			1.04	0.19
33年目	H 72	0.1780	93.3			1.04	0.18
34年目	H 73	0.1712	93.3			1.04	0.18
35年目	H 74	0.1646	93.3			1.04	0.17
36年目	H 75	0.1583	93.3			1.04	0.16
37年目	H 76	0.1522	93.3			1.04	0.16
38年目	H 77	0.1463	93.3			1.04	0.15
39年目	H 78	0.1407	93.3			1.04	0.15
40年目	H 79	0.1353	93.3			1.04	0.14
41年目	H 80	0.1301	93.3			1.04	0.13
42年目	H 81	0.1251	93.3			1.04	0.13
43年目	H 82	0.1203	93.3			1.04	0.12
44年目	H 83	0.1157	93.3			1.04	0.12
45年目	H 84	0.1112	93.3			1.04	0.12
46年目	H 85	0.1069	93.3			1.04	0.11
47年目	H 86	0.1028	93.3			1.04	0.11
48年目	H 87	0.0989	93.3			1.04	0.10
49年目	H 88	0.0951	93.3	-4.37	-0.42	1.04	0.10
合計				254.94	202.34	51.85	15.02
単純事業費計				259.31		51.85	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

便益の現在価値算定表 (事業全体・残事業)

箇所名: 国道470号(能越自動車道) 輪島道路(Ⅱ期)

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (北陸ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					交通事故減少便益(億円)			合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~④)	現在価値 割引率4%	
		H 39	0.99576	0.98427	0.97817			0.99248	0.6496	93.3	15.89	3.37	1.27	20.53	13.34	2.07	0.35	0.17	2.59	1.69	1.53	1.00
1年目	H 40	0.99574	0.98402	0.97768	0.99242	0.6246	93.3	15.82	3.32	1.25	20.38	12.73	2.06	0.35	0.17	2.58	1.61	1.52	0.95	24.48	15.29	
2年目	H 41	0.99572	0.98376	0.97717	0.99236	0.6006	93.3	15.75	3.26	1.22	20.24	12.15	2.05	0.34	0.17	2.56	1.54	1.51	0.91	24.30	14.60	
3年目	H 42	0.99077	0.99335	1.00200	0.99205	0.5775	93.3	15.69	3.21	1.19	20.09	11.60	2.04	0.34	0.16	2.54	1.47	1.50	0.87	24.13	13.93	
4年目	H 43	0.99069	0.99330	1.00200	0.99199	0.5553	93.3	15.54	3.19	1.19	19.92	11.06	2.02	0.33	0.16	2.52	1.40	1.49	0.83	23.93	13.29	
5年目	H 44	0.99060	0.99326	1.00200	0.99193	0.5339	93.3	15.40	3.17	1.19	19.76	10.55	2.00	0.33	0.16	2.50	1.33	1.48	0.79	23.73	12.67	
6年目	H 45	0.99051	0.99321	1.00199	0.99186	0.5134	93.3	15.25	3.15	1.20	19.60	10.06	1.99	0.33	0.16	2.48	1.27	1.46	0.75	23.54	12.08	
7年目	H 46	0.99042	0.99316	1.00199	0.99179	0.4936	93.3	15.11	3.13	1.20	19.43	9.59	1.97	0.33	0.16	2.46	1.21	1.45	0.72	23.34	11.52	
8年目	H 47	0.99033	0.99312	1.00198	0.99173	0.4746	93.3	14.96	3.10	1.20	19.27	9.14	1.95	0.32	0.16	2.44	1.16	1.44	0.68	23.14	10.98	
9年目	H 48	0.99023	0.99307	1.00198	0.99166	0.4564	93.3	14.82	3.08	1.20	19.10	8.72	1.93	0.32	0.16	2.42	1.10	1.43	0.65	22.95	10.47	
10年目	H 49	0.99014	0.99302	1.00198	0.99159	0.4388	93.3	14.67	3.06	1.21	18.94	8.31	1.91	0.32	0.16	2.40	1.05	1.42	0.62	22.75	9.98	
11年目	H 50	0.99004	0.99297	1.00197	0.99152	0.4220	93.3	14.53	3.04	1.21	18.78	7.92	1.89	0.32	0.17	2.37	1.00	1.40	0.59	22.56	9.52	
12年目	H 51	0.98994	0.99292	1.00197	0.99144	0.4057	93.3	14.38	3.02	1.21	18.61	7.55	1.87	0.32	0.17	2.35	0.95	1.39	0.56	22.36	9.07	
13年目	H 52	0.98984	0.99287	1.00196	0.99137	0.3901	93.3	14.24	3.00	1.21	18.45	7.20	1.85	0.31	0.17	2.33	0.91	1.38	0.54	22.16	8.65	
14年目	H 53	0.98973	0.99282	1.00196	0.99129	0.3751	93.3	14.09	2.98	1.22	18.29	6.86	1.83	0.31	0.17	2.31	0.87	1.37	0.51	21.97	8.24	
15年目	H 54	0.98963	0.99277	1.00196	0.99122	0.3607	93.3	13.95	2.96	1.22	18.12	6.54	1.82	0.31	0.17	2.29	0.83	1.36	0.49	21.77	7.85	
16年目	H 55	0.98952	0.99272	1.00195	0.99114	0.3468	93.3	13.80	2.93	1.22	17.96	6.23	1.80	0.31	0.17	2.27	0.79	1.34	0.47	21.57	7.48	
17年目	H 56	0.98941	0.99266	1.00195	0.99106	0.3335	93.3	13.66	2.91	1.22	17.80	5.93	1.78	0.30	0.17	2.25	0.75	1.33	0.44	21.38	7.13	
18年目	H 57	0.98929	0.99261	1.00194	0.99098	0.3207	93.3	13.51	2.89	1.23	17.63	5.65	1.76	0.30	0.17	2.23	0.71	1.32	0.42	21.18	6.79	
19年目	H 58	0.98918	0.99255	1.00194	0.99090	0.3083	93.3	13.37	2.87	1.23	17.47	5.39	1.74	0.30	0.17	2.21	0.68	1.31	0.40	20.99	6.47	
20年目	H 59	0.98906	0.99250	1.00194	0.99081	0.2965	93.3	13.23	2.85	1.23	17.30	5.13	1.72	0.30	0.17	2.19	0.65	1.30	0.38	20.79	6.16	
21年目	H 60	0.98894	0.99244	1.00193	0.99073	0.2851	93.3	13.08	2.83	1.23	17.14	4.89	1.70	0.30	0.17	2.17	0.62	1.29	0.37	20.59	5.87	
22年目	H 61	0.98881	0.99238	1.00193	0.99064	0.2741	93.3	12.94	2.81	1.24	16.98	4.65	1.68	0.29	0.17	2.15	0.59	1.27	0.35	20.40	5.59	
23年目	H 62	0.98870	0.99233	1.00193	0.99056	0.2636	93.3	12.79	2.78	1.24	16.81	4.43	1.67	0.29	0.17	2.13	0.56	1.26	0.33	20.20	5.32	
24年目	H 63	0.98859	0.99228	1.00193	0.99048	0.2534	93.3	12.65	2.76	1.24	16.65	4.22	1.65	0.29	0.17	2.10	0.53	1.25	0.32	20.00	5.07	
25年目	H 64	0.98848	0.99223	1.00193	0.99040	0.2437	93.3	12.50	2.74	1.24	16.49	4.02	1.63	0.29	0.17	2.08	0.51	1.24	0.30	19.81	4.83	
26年目	H 65	0.98837	0.99218	1.00193	0.99032	0.2343	93.3	12.36	2.72	1.24	16.32	3.82	1.61	0.28	0.17	2.06	0.48	1.23	0.29	19.61	4.60	
27年目	H 66	0.98826	0.99213	1.00193	0.99024	0.2253	93.3	12.21	2.70	1.25	16.16	3.64	1.59	0.28	0.17	2.04	0.46	1.21	0.27	19.42	4.37	
28年目	H 67	0.98815	0.99208	1.00193	0.99016	0.2166	93.3	12.07	2.68	1.25	16.00	3.47	1.57	0.28	0.17	2.02	0.44	1.20	0.26	19.22	4.16	
29年目	H 68	0.98804	0.99203	1.00193	0.99008	0.2083	93.3	11.93	2.66	1.25	15.84	3.30	1.55	0.28	0.17	2.00	0.42	1.19	0.25	19.03	3.96	
30年目	H 69	0.98793	0.99198	1.00193	0.99000	0.2003	93.3	11.79	2.64	1.25	15.68	3.14	1.53	0.28	0.17	1.98	0.40	1.18	0.24	18.83	3.77	
31年目	H 70	0.98782	0.99193	1.00193	0.98992	0.1926	93.3	11.64	2.61	1.26	15.51	2.99	1.52	0.27	0.17	1.96	0.38	1.17	0.22	18.64	3.59	
32年目	H 71	0.98771	0.99188	1.00193	0.98984	0.1852	93.3	11.50	2.59	1.26	15.35	2.84	1.50	0.27	0.17	1.94	0.36	1.15	0.21	18.45	3.42	
33年目	H 72	0.98760	0.99183	1.00193	0.98976	0.1780	93.3	11.36	2.57	1.26	15.19	2.70	1.48	0.27	0.17	1.92	0.34	1.14	0.20	18.26	3.25	
34年目	H 73	0.98749	0.99178	1.00193	0.98968	0.1712	93.3	11.22	2.55	1.26	15.03	2.57	1.46	0.27	0.17	1.90	0.33	1.13	0.19	18.07	3.09	
35年目	H 74	0.98738	0.99173	1.00193	0.98960	0.1646	93.3	11.08	2.53	1.27	14.88	2.45	1.44	0.26	0.17	1.88	0.31	1.12	0.18	17.88	2.94	
36年目	H 75	0.98727	0.99168	1.00193	0.98952	0.1583	93.3	10.94	2.51	1.27	14.72	2.33	1.42	0.26	0.17	1.86	0.29	1.11	0.18	17.69	2.80	
37年目	H 76	0.98716	0.99163	1.00193	0.98944	0.1522	93.3	10.80	2.49	1.27	14.56	2.22	1.41	0.26	0.17	1.84	0.28	1.10	0.17	17.50	2.66	
38年目	H 77	0.98705	0.99158	1.00193	0.98936	0.1463	93.3	10.66	2.47	1.27	14.40	2.11	1.39	0.26	0.17	1.82	0.27	1.08	0.16	17.31	2.53	
39年目	H 78	0.98694	0.99153	1.00193	0.98928	0.1407	93.3	10.52	2.45	1.28	14.25	2.00	1.37	0.26	0.17	1.80	0.25	1.07	0.15	17.12	2.41	
40年目	H 79	0.98683	0.99148	1.00193	0.98920	0.1353	93.3	10.39	2.43	1.28	14.09	1.91	1.35	0.25	0.17	1.78	0.24	1.06	0.14	16.93	2.29	
41年目	H 80	0.98672	0.99143	1.00193	0.98912	0.1301	93.3	10.25	2.41	1.28	13.94	1.81	1.33	0.25	0.18	1.76	0.23	1.05	0.14	16.75	2.18	
42年目	H 81	0.98661	0.99138	1.00193	0.98904	0.1251	93.3	10.11	2.38	1.28	13.78	1.72	1.32	0.25	0.18	1.74	0.22	1.04	0.13	16.56	2.07	
43年目	H 82	0.98650	0.99133	1.00193	0.98896	0.1203	93.3	9.98	2.36	1.29	13.63	1.64	1.30	0.25	0.18	1.72	0.21	1.03	0.12	16.38	1.97	
44年目	H 83	0.98639	0.99128	1.00193	0.98888	0.1157	93.3	9.84	2.34	1.29	13.48	1.56	1.28	0.25	0.18	1.70	0.20	1.02	0.12	16.19	1.87	
45年目	H 84	0.98628	0.99123	1.00193	0.98880	0.1112	93.3	9.71	2.32	1.29	13.32	1.48	1.26	0.24	0.18	1.68	0.19	1.00	0.11	16.01	1.78	
46年目	H 85	0.98617	0.99118	1.00193	0.98872	0.1069	93.3	9.58	2.30	1.29	13.17	1.41	1.25	0.24	0.18	1.66	0.18	0.99	0.11	15.83	1.69	
47年目	H 86	0.98606	0.99113	1.00193	0.98864	0.1028	93.3	9.44	2.28	1.30	13.02	1.34	1.23	0.24	0.18	1.65	0.17	0.98	0.10	15.65	1.61	
48年目	H 87	0.98595	0.99108	1.00193	0.98856	0.0989	93.3	9.31	2.26	1.30	12.87	1.27	1.21	0.24	0.18	1.63	0.16	0.97	0.10	15.47	1.53	
49年目	H 88	0.98584	0.99103	1.00193	0.98848	0.0951	93.3	9.18	2.24	1.30	12.72	1.21	1.20	0.23	0.18	1.61	0.15	0.96	0.09	15.29	1.45	
合計								629.49	137.91	62.26	829.65	258.81	81.94	14.42	8.51	104.87	32.72	62.24	19.38	996.76	310.91	

路線名	箇所名	車線数	延長
国道470号 (能越自動車道)	輪島道路(Ⅱ期)	2	6.8km

■事業費内訳【事業全体】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				23,802	
	改良費				10,309	
		土工	m ³	1,868,491	1,224	
		軟弱地盤改良工	m ³	459,185	1,111	
		法面工	m ²	148,708	1,213	切土法面、盛土法面
		地すべり対策工	式	1	5,010	
		函渠工	式	1	1,518	
		排水工	m	8,237	137	
		中央分離帯工	m	3,997	96	
	橋梁費				1,917	
		100m以上	m	185	1,358	1橋
		100m未満	m	90	399	1橋
		跨道橋	m	64	160	1橋
	トンネル費				10,038	
		NATM	m	2,500	10,038	
	IC・JCT費				133	
		IC	箇所	2	133	平面交差点、平面Y型
	舗装費				610	
		車道舗装	m ²	53,960	610	
	付帯施設費				447	
		交通管理施設工	式	1	447	標識工、防護柵工、道路照明等
	雑工				349	
		雑工	式	1	349	
②	用地及補償費				2,781	
	用地費		m ²	296,525	565	
		宅地	m ²	27,591	276	
		田畑	m ²	86,474	216	
		山林・原野	m ²	182,460	73	
	補償費		式	1	2,216	
③	間接経費		式	1	3,417	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				30,000	

路線名	箇所名	車線数	延長
国道470号 (能越自動車道)	輪島道路(Ⅱ期)	2	6.8km

■事業費内訳【残事業】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					23,802	
	改良費				10,309	
		土工	m ³	1,868,491	1,224	
		軟弱地盤改良工	m ³	459,185	1,111	
		法面工	m ²	148,708	1,213	切土法面、盛土法面
		地すべり対策工	式	1	5,010	
		函渠工	式	1	1,518	
		排水工	m	8,237	137	
		中央分離帯工	m	3,997	96	
	橋梁費				1,917	
		100m以上	m	185	1,358	1橋
		100m未満	m	90	399	1橋
		跨道橋	m	64	160	1橋
	トンネル費				10,038	
		NATM	m	2,500	10,038	
	IC・JCT費				133	
		IC	箇所	2	133	平面交差点、平面Y型
	舗装費				610	
		車道舗装	m ²	53,960	610	
	付帯施設費				447	
		交通管理施設工	式	1	447	標識工、防護柵工、道路照明等
	雑工				349	
		雑工	式	1	349	
②用地及補償費					2,291	
	用地費		m ²	154,625	437	
		宅地	m ²	23,691	237	
		田畑	m ²	70,474	176	
		山林・原野	m ²	60,460	24	
	補償費		式	1	1,854	
③間接経費			式	1	1,877	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					27,970	

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
国道470号(能越自動車道)	輪島道路(Ⅱ期)	2	6.8km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	6.8	1,900	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	3,700	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			5,600	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。